

官報

號外 昭和六年三月七日

○第五十九回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十七號

昭和六年三月六日(金曜日)午前十時四十三分開議

議事日程 第二十七號

第一 國務大臣ノ演説ニ關スル件（第二十三日）  
付） 第二 地租法案（政府提出、衆議院送  
第一讀會

第三 营業収益稅法中改正法律案（政  
府提出、衆議院送付） 第一讀會

第四 砂糖消費稅法中改正法律案（政府提出、衆議院送付） 第一讀會

第五 織物消費稅法中改正法律案（政  
村提出、衆議院送付） 第一 読會

第六 明治四十一年法律第三十七號中  
改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第七 大正十五年法律第二十四號中政  
第一讀會

第七章 一五全法第十二號  
正法律案(政府提出、衆議院送付)

# 第八 都市計畫法中改正法律案（政府 提請、送交議會各委員會審議） 第一讀會

**提出  
衆議院送付** 第一議會  
**第九  
米穀法中改正法律案(政府提出、  
支那完結)** 第二讀會

衆議院送付  
第一讀會  
第十 来穀需給調節特別會計法中改正

法律案(政府提出 索議院送付) 第一讀會

**第十一 震災被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案(政府提出、**

第一讀會ノ續(委員長報告)

官報號外 善和六年三月七日 貴族院議事速記錄第二十七號

會議  
議長ノ報告  
議員ノ請願  
自程變更ノ協議

事日程第十一、第十二ノ件

三  
四

ル法律案、政府提出、衆議院送付、日程第  
十二、國際決済銀行ニ租稅等ヲ課セザルコ  
トニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、  
第一讀會ノ續、委員長報告、奥平伯爵ノ登  
壇ヲ望ミマス

レハ猶豫ノ規定ガ此ノ法律案ノ中ニナイ  
ガ、ソレハナンデ輕減又ハ減免ヲスルノデ  
アルカ、或ハ行政處分ニ依ルモノデアルカ、  
斯様ナ質問モゴザイマシテ、ソレニ付キマ  
シテ酒造税ニ付キマシテハ奥丹後ノ震災ノ  
時ニ免除法ヲ出シテ居ルガ、ソレハ酒造税  
ノ納期ガ延期出來ルト云フコトニナシテ居  
テ、當時、其時ニハ一年二箇月位確カ延期  
ラシタト思フ、併シ今度ノハ此關係ニ於テ  
少シ違フノデアルカラシテ、與丹後ノ時ニ  
ハ稅務署其他ガ燒ケテシマッダノデアルカ  
ラ已ムヲ得ズ是ハ延期ヲ致シタ、斯様ナ答  
辯ガゴザイマシタ、第二回ノ委員會ヲ開催  
イタシマシテ、所得稅、資本利子稅ト云フ  
ヤウナモノガ、此本案ニ依リマスレバドウ  
輕減ヲザレルカ、尙未且ツ矢張リ酒造税…  
酒造業者ノ如キ非常ナル損害ヲ受ケタモノ  
ノ稅、即チ酒造税ノ如キモノガ行政處分其  
他何等力ノ方法デ考慮ヲ願ハレナイカト云  
フヤウナコトニ付テ質問ガゴザイマシタ、  
之ニ對シマシテモ前ト略、同様ノ答辯ゴザ  
イマシタ次第ゴザイマス、此案ニ決ヲ採  
リマスルニ際シマシテ、一委員ヨリ希望ガ  
出テ居ルノデゴザイマス、ソレハ此案ニ依  
リマスト云フト、多クハ手續ハ省令ニ讓ツテ  
アルノデアルガ、併シソレデハイカヌ、勿  
論此委員會ハ省令案モ未定稿デアリマスル  
ケレドモ拜見モ致シ、ソレニ依シテモ審査  
ヲ致シタノデゴザイマスガ、尙ニ對シマ  
シテ希望ガ一委員カラ出タノデゴザイマ  
ス、ソレハ相續稅等ニ付テ、其ノ他ノ諸稅  
ニ付テモアラウト思ヒマスガ、可成リ納稅  
者ノ中ニハ實際ノ事情ハ氣ノ毒ナ者ガアラ  
ウト思ブ、稅務署ガ租稅ヲ徵收スル場合ニ  
ハ出來ルダケ事情ヲ斟酌シテヤフテ、適宜ノ  
處置ヲ執ルヤウニ御考慮ヲ願ヒタイ、斯ウ  
云フ希望ガ出タノデゴザイマス、之ニ付キ  
マシテハ、委員會ハ伺等ノ異議モナク、此  
希望ヲ是ナリト致シテ拜聽イタシテ居リマ  
シタ、政府委員モ御趣旨ノ點ハ諒承ヲ致シ

マシタト云フコトテ、出來ルダケ考慮ヲ致シ  
案ニ付キマシハテ満場一致可決イタシマシ  
タヤウナ次第デゴザイマス、次ニ國際決済  
銀行ニ租稅ヲ課セザルコトニ付キマシテノ  
此法律案ニ付キマシテハ、是亦政府委員ヨ  
リ逐一説明ヲ承リマシタ、前ノ案ニ付キマ  
シテモ説明ヲ承リマシタガ、既ニ速記モ出  
テ居ルコトデゴザイマスルカラ、前ノ案ニ  
付キマシテノ説明ニ付テハ、御披露ヲ申上  
ゲマセヌ、本案ニ付キマシテハ昭和五年一月  
二十日ニ締結セラレマシタ「一ヶ協定條  
約中ノ一項目デアル此國際決済銀行ヲ設立  
イタシマシテ、獨逸國ヨリ受入レマスル賠  
償金ヲ各債權國ニ分配スルト云フコトデア  
リマジテ、是ヨリ生ズル資金及ビ投資ニ關  
シテハ「一ヶ協定條約締約國ハ一切ノ租  
稅其他公課ヲ課セナイヤウニスル必要ガア  
ルノデ、其處置ヲ執ルト云フコトニナアテ居  
ル、我國モ法律ヲ制定シテ以テ協定ノ趣旨  
ニ副ヒタイ、斯ウ云フ説明デゴザイマシタ、  
之ニ對シマシテハ一委員カラ條約ノ御諮詢  
ニ相成ラヌ前ニ、法律案ガ出ルト云フノハ  
頗ル妙ナモノデハナイカト云フ質問ガゴザ  
イマシタ、ソレニ付キマシテハ、政府委員  
カラハ何シロ事務ガ茲ニ起テ居ルノデ憲  
法上ノ關係モゴザイマスルガ、事務ガ起テ  
居ルノデ、ソレデ本案ヲ提出シタ所以ニア  
ル、又國際銀行ノ支店ガ日本ノ内地ニ是カ  
ラ澤山出來テハ困ルガ、出來ル見込デアル  
カト云フ風ナ質問ガゴザイマシタガ、之ニ  
對シマシテハ、政府委員カラハサウ出來ル  
譯ハナイ、正金銀行又ハ日本銀行、主トシ  
テ日本銀行ガ獨逸國カラ受入レル所ノ賠償  
金、其賠償金ヲ一時預カッテ、サウシテ政  
府ニ之ヲ納入スル迄ノ間事務ヲ取扱テ行  
クノデアルカラシテ、投資等ニ付キマシテ  
ハ、最モ日本銀行ガ取扱フノデアルカラシ  
テ、決シテ支店等ガ出來ル譯ハナイ、斯様  
ナ意味ノ答辯モゴザイマシテ、本案ニ付キ

○議長(公爵徳川家達君)　兩案ヲ第二讀會  
ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君)　御異議ナイト認  
メス

○子爵池田政時君　直チニ兩案ノ第二讀會  
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　賛成

○議長(公爵徳川家達君)　池田子爵ノ動議  
ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君)　御異議ナイト認  
メス

○議長(公爵徳川家達君)　兩案全部ヲ問題  
ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君)　御異議ナイト認  
メス

○子爵池田政時君　直チニ兩案ノ第三讀會  
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君　賛成

○議長(公爵徳川家達君)　池田子爵ノ動議  
ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君)　御異議ナイト認  
メス

○議長(公爵徳川家達君)　兩案トモ第一讀  
會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君)　御異議ナイト認  
メス

○議長(公爵徳川家達君)　再び議事日程變  
更ニ關シ御許リテ致シマス、議事ノ都合上  
日程第二ヨリ第八マデヲ日程第一ノ前ニ議  
題致シタイト考ヘマス、御異存ゴザイマ

右報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認  
メマス  
○議長(公爵徳川家達君) 三井清一郎君ニ  
發言ヲ許サウト存ジマスガ、御登壇ヲ促ス  
前ニ一應伺シテ見タイト存ジマス、大藏大臣  
ハ只今衆議院ノ委員會ニ出席セラレテ居リ  
マシテ、本議場ヘハチヨット暫クノ間ハ出席  
ガ不可能ノ趣デゴザイマズ、昨日ノ大藏大臣  
臣ノ答辯ニ對シテ、再び質疑ヲ御希望ノヤ  
ウニ議長ハ推察イタシマシタガ、ソレデハ  
大藏大臣ノ出席ノ時迄留保ヲ願ヒタイト考  
ヘマス、只今内務大臣ガ出席セラレテ居  
マスカラ内務大臣ニ對スル質疑ニ御止ドメ  
ハ出來スママイカ  
○三井清一郎君 内務大臣ニ對シテ御問ビ  
スルコトハアリマセヌ  
○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ三井君ハ  
大藏大臣ノ出席セラレル迄質疑ハ御延バシ  
ニナル方ガ御望ミデゴザイマスカ  
○三井清一郎君 其通りデゴザイマス  
○議長(公爵徳川家達君) 議長ノ申述ベル  
通り……然ラバ森田福市君ニ發言ヲ許ス  
順序デゴザイマスガ、森田君ハ只今此處ニ  
出席セラレテ居ル國務大臣ニ對シテ質疑ヲ  
爲サイマスカ、然ラザレバ或ハ他ノ國務大  
臣ニ出席ヲ御要求ニ相成リマスカ  
○森田福市君 總理大臣代理ト大藏大臣ニ  
先ニ質問イタシマセヌト順序ガ宜クアリマ  
セヌ、内務大臣ハ今日御都合ガ悪イヤウニ  
先程御話ガアリマシタノデ、私ハ其方ハ他  
ノ機會ニ譲タラト考ヘテ居タノデアリマ  
スガ、大藏大臣ト總理大臣代理ガ御出マシ  
ニナラナケレバ、地方稅問題デ御質問申上  
ゲテモ宜シイノデアリマスガ、成ルベク順  
序ヲ宜ク、總理大臣代理、大藏大臣ニ御出  
席ヲ願シテカラ、關聯シテ致シタイト思ヒマ  
ス、御都合如何デゴザイマスカ  
○議長(公爵徳川家達君) 總理大臣臨時代

○森田福市君 御出席ニナル迄御待チシテ  
ヒタイト思ヒマス

○三井清一郎君 (公爵徳川家達君) ドウ云フコトデ  
スカ

○議長 (公爵徳川家達君) 三井君  
○三井清一郎君 議事ノ進行ニ關シテ一言  
オタシタイ

○議長 (公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマスカ  
○議長 (公爵徳川家達君) ドウ云フコトデ  
ゴザイマスカ御述べナシテ御覽ナサイ

○三井清一郎君 今日貴族院ハ此現政府ノ  
最モ重要ナル、又我ニモ重大問題ト考ヘテ  
居リマス所ノ此減税案ヲ御提出ニナシテ、此  
質疑應答ノ審議ハ他ニ比較シテ私ハ重大性  
ヲ帶ビテ居ルト考ヘルノデアリマス、然ル  
ニ分科會其他ノ理由デ最モ此案ニ關係ノアリ  
ル主務大臣ノ御出席ガナイト云フコトハ、  
私ハ非常ニ遺憾トスルモノデアリマス、從  
テ議事進行ヲ非常ニ阻害スル、然ルベク議  
長ハ御取計ヒヲ願ヒタイ

○議長 (公爵徳川家達君) 三井清一郎君ヲ  
只今ノ御申述ノコトハ議長ハ直子ニ政府ニ  
御趣意ヲ傳ヘマセウ、ソレデ宜シウゴザイ  
マスガ

○三井清一郎君 宜シウゴザイマス

○議長 (公爵徳川家達君) 然ラバ高橋琢也  
君ニ發言ヲ許スヨリ外ニ、途方ナイト考ヘ  
マス、高橋琢也君ノ登壇ヲ望ミマス

○高橋琢也君 他人ノ議員ニ向シテハドウス  
ルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、私ニハ  
直子ニ登壇セヨ……私ハ昨日書記官迄申出  
デテ置キマシタ、首相代理サウシテ大藏大臣、  
殊ニ此減税案ハ大藏大臣ガ説明ヲ演壇



ニアリマスカラ、此重大ナ變革ヲ來ス場合ニ於テハ、十分ノ審査機關、或ハ調査機關ニ御諮詢リニナッテ、確信ヲ御持チニナッテ居ルカト云フ質問ニ對シマシテ、十四年カラ約一千万圓ノ金ヲ費シテ、簡年ニ亘ツテ是ノ金ヲ使ツテ御調査ニオッタト云フコトハ賃價格ノ御調査ヲナサリ、今日此課稅標準ヲ御變ヘニナル所ノ基礎條件ダケハ御調べシ、意見ヲ徵シナケレバナラヌト、斯ウ考ヘマシタカラ御聽キ申シマシタガ、是ガ或ノハ斯ウ云フ大變革ヲスル場合ニ朝野ノ士、此知名ノ識者ヲ集メテ相當ノ研究ヲ於テ、サウ云フ御調査ニナッテ居タト仰シヤルナラバ、ソレデ宜ノデアリマスガ、ソ其コトヲ御聽キシカツタノデアリマス、ソコテ私ハ茲ニ一つノ質問ガ生ジタノデアリマス、十四年カラ掛カツテ賃貸價格ノ調査ヲ御ヤリニナッテ、ソレガ課稅標準トナッテ、今日地租條例方改正ニナルト致シマスレバ、此十四年ノ時ノ物價ノ有様ト今日ノ物價ノ有様ト、經濟界ノ狀勢ガ非常ニ變化シテ居リマス、此非常ニ變化シタ所ノ經濟狀態デ、是カラ先キ昭和十三年ニ賃貸價格ノ調査ヲスルト仰セラレマスガ、此間ニ非常ナ此處ニハ賃貸價格ノ差が出來テ居リマス、御承知ノ如ク東京附近ニ於テモ、郊外ニ於テモ最早此地代ヲ下ダナケレバナラヌ、下ダ所モアリマス、地代ヲ下ダル、斯ウ云フヤウニ變化シテ來居ル、此變化シテ居ル時期、又今後モ物價ノ低落、此財界不況ガ深刻化スルニ從ツテ、尙是等ノ價格ガ、收益ガ減ツテ來ルダラウト思ヒマスルガ、此收益ガ減ツテ來ルノヨ、十四年ニ調査シタ所ノ賃貸價格ニ對シテ課稅ヲスルト云フコトハ、私ハ餘程御注意ニナラナケレバニカヌト思フ、之ハドウゾ此調査ノ時期ヲモ、ト早メルト云フコトガ必要デアラウト

信ズルノデアリマスガ、政府ハサウ云フ御  
申上ゲル次第アリマス、ソレカラ公用地、  
公共團體ノ有ツテ居ル土地ニ付テ課稅ヲシ  
ナイ、其代リニ相當ノ補償ヲスル、現ニ國  
有林野ニ對シテモ、ソレ相應ニ其地方ニ補  
償ヲスル、海軍ノ工廠所在地ニハ相當ノ補  
償ヲスル、其額ガ通じテ百万圓程ニナルト  
云フ御答ヲ得タノアル、斯ウ云フ補償ヲ  
ナサレルト云フコトハ、國民ノ負擔ヲ公正  
ニスルト云フ上カラモ申シマシテ、私ハ宜  
イコトト考ヘマスルガ、ソレヲ爲サレルナ  
ラバ尙ホ私ハ陸軍ノ大ナル演習場若シクバ  
火薬庫、兵器製造所ト云フヤウナモノガ非  
常ニ廣イ土地ヲ占メテ居ル、之等ニ對シテ  
モ補償ヲ爲サレナケレバナラヌガ、未ダ私  
ハ其補償ヲ爲サレテ居ルト云フコトヲ聞キ  
マセヌガ、果シテ補償ニナッテ居リマスヤ否  
ヤ、此點ヲ伺ヒマス、マダ一二アリマス  
ガ、時間ハナイト云フ御話ニアリマスカラ  
是デ止メテ置キマス。

ゴザイマシタナラバ、重ネテ御質問ヲ仰ガ  
コトニ致シマシテ、第一ハ此地租改正ノ課  
改正ノ根本ニナッテ居ルコトニ付テ、慎重ナ  
考究手續ヲ執ツタノデアルカ、ト云フヤウナ  
第一ハ御質問ノヤウデアリマシタガ、地租  
条例ヲ改正センケリヤナラヌト云フコト  
ハ、誰モ考ヘテ居ツタノデアリマシテ、長ラ  
クノ間如何ナル標準ニ依テ之ヲ變ヘタナ  
ラ宜カラウカト云フコトニ付テハ、朝野ノ  
議論ガアツタノデアリマス、只今チヨット記  
錄モハツキリ致シマセヌガ、或ハ間違フカモ  
知レマセヌガ、加藤友三郎氏ノ内閣ノ時ニ  
ノ上ヲタコトヲ、私隠ゲナガラ記憶シテ居ル  
經濟調査會ガアリマシテ、其時ニモ研究フ  
一項目トシテ土地ノ賃貸價格ニ依テ地租  
條例ヲ改正スルガ宜カラウト云フヤウナ  
ノ上ヲタコトヲ、私隠ゲナガラ記憶シテ居ル  
次第アリマス、只今問題ニナッテ居リマス  
賃貸價格ノ調査ノコトハ、昨日チヨット一端  
ヲ申上げマシタヤウニ、土地ノ収益ニ依テ  
其時ノ地價ヲ修正スルト云フコトト、ソレ  
カラモウ一つハ土地賣買價格ヲ以テ、ソレ  
ヲ地價ニシテ修正スルト云フコトト、賃貸  
價格ニ依ルト云フヤウナ、三ツノ問題ニ付  
テ可ナリ長ク研究モシ、又議院等ニ屢々討  
議ヲ重ねテ居リマス、サウ致シマシテ結局  
大正十五年ノ春ノ議會ニ土地賃貸價格調査  
法ト云フモノヲ提出イタシマシテ、二箇年  
テ、稅務署管内ニ相當ナ人ヲ使ヒマシテ、  
間掛リマシテ土地賃貸價格ヲ調査イタシタ  
ノデアリマス、其調査イタシマシタ方法ハ、  
日本全國ニアル數百ノ稅務署ニ分チマシ  
テ、稅務署管内ニ相当ナ人ヲ使ヒマシテ、  
市町村ト結付イテ二箇年ニ亘テ詳細ナ地  
圖ヲ捲ヘ、各地目ノ状態ニ依リマシテ精シ  
イ調査ヲ致シタノデアリマス、一例ヲ申シ  
マスト、市街宅地ノ如キハ、角ノ地所へ多  
少ノ利用價格ガ高イカラドウカ、或ハ袋地  
ニナツテ居ルモノハ賃貸價格ヲ幾ランニ下ゲ  
ル、或ハ地區ノ形ガ長方形ニナッテ居ルト

カ、或ハドウトカ云フヤウナ、形ニ依リマシテモ、多少賃貸價格ニ手加減ヲ致シテ、ノデアリマス、大藏省ト致シマシテハ可ナリ廣汎ナル調査ヲ致シタ次第デアリマス、サウシテ出來上リマシタモノヲ、各稅務署管内ニ土地賃貸價格調査委員會ト云フモノイテ、ヲ置キマンテ、可ナリソレハ各稅務署管内ニ、人モ多ク又所得稅調査等ノ大凡ノ人人ノモノ、人柄デアリマスルガ、サウ云フ會ヲ開イテ、メレニ掛ケテ、サウシテ調査ノ結了ヲ告ゲ、タ次第デアリマス、ソレデアリマスカラ調査其モノニ付テ粗漏ハナカズタ、又輿論カラ申シマシチモ、長ラク間ノ輿論デアツテ、ソレニ手落チハナカツタ考ヘテ居リマス、大正十五年ノ四月一日ノ現在地租負擔ヲシテ居ル土地ヲ只今ノヤウニ二箇年掛ケテ調査シタ、今日相當ナ時方經チ居ル、經濟狀態モ非常ニ變動シタ、ソレデアル、各地目、即チ田地、田畠、宅地其他ノ難種目ノ土地ニ付テ不公平ニナシテ居リヤセヌカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、成ル程其當時ノ地價ダケヲ假リニ取リマシテモ、其當時ノ地價、即チ賣買價格トスウ勘定イタシマシテモ、シテ居ル、全體ノモノガ下ッタノデアルカヌ、其間ニ不公平ハナイト、斯ウ考ヘテ居リマスノデアリマス、市街地ノ宅地ガ成程餘計下ッテ居ルヤウニアリマスケレドモ、基本數字ガ非常ニ高イノデアリマス、即チ一坪……一段ト云ヘ非常ニ高イモノデアリマスカラ、割合カラ云ヘ餘計下ッテ居ルヤ平トモ考ヘテ居リマセヌ、ノミナラズ十年毎ニ實質價格ノ調査ヲヤリ直サウ、ノミナラズ今般ハ實行ガ遇レマシテ、多少其間ニ不

合理ナ點ヲ見附ケ出シヤスカラ、今度ノ次ノ賃貸價格ノ調査時期ハ線上ゲマシテ、昭和十三年ニ調査ヲシヤウト云フコトヲ決定シテ居ル次第アリマスカラ、此點ニ付キマシテ、左程不當ナコトト考ヘテ居ラヌノデアリマス、昔カラ永ラクノ間地價ヲアリバ、實際ノ事情ニ今般ノ改正ノ方ガ餘程適當スルコトト我々ハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、御承知ヲ願ヒマス。

○玉井清一郎君 簡單デゴザイマスカラ、此席カラ……

○議長(公爵徳川家達者) 宜シウゴザイヤス

○玉井清一郎君 只今大藏大臣ノ御答辯ヲ

承ハリマシテ、大體ハ了承イタシマシタ、

尚ホ大正十四年ノ調査ヲ、其當時ト、今日

ノ經濟狀態方違フト云フコトヲ、御認メニ

ナツテ居リマス、我々ハ地租ノ上シタ時分ニ

比シマスト、十三四年ニ一段歩五六百圓シ

タ田地ガ、最早百五十圓デモ買手ガナイ、

其土地ノ價格ガ低下シマスト、其土地ノ收

益ガ無論非常ニ變テ來マスカラ、此收益ヲ

課稅標準トスル今回ノ賃貸價格ヲ御執リニ

ナル以上ハ、始終此收益ニ動カサレルト云

フコトヲ御考ヘ下サレテ、今後御善處アラ

ムコトヲ望ンデ置キマシテ、更ニ御問ヒヲ

致シマセヌガ、此際私ハ一言附加ヘテ置キ

タヨトハ、我々ハ此國民負擔ノ輕減ト云

アリマスガ、今回ノ此減稅案ハ其內容ト云

ヒ財源ト云ヒ、又之方實行セムトスル此出

發點ト云ヒ、我々考ト大ニ異ニ居ル點ガ

アリマスノデ、私ハ此減稅案ニ付テハ餘程

研究ヲ要スルト考ヘタ次第アリマス、殊ニ私ハ第一ニ承ハリタイトシテ昨日申上げ

タ所ノ此軍縮ト、國民負擔ノ輕減ヲ結付ケ

今度ノ地租法ノ改正八十年毎ニ之ヲ調査シテ改訂シテ行ク、斯ウ云フコトヲ考ヘマシタバ、實際ノ事情ニ今般ノ改正ノ方ガ餘程適當スルコトト我々ハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、御承知ヲ願ヒマス。

○玉井清一郎君 簡單デゴザイマスカラ、此席カラ……

○議長(公爵徳川家達者) 宜シウゴザイヤス

○玉井清一郎君 只今大藏大臣ノ御答辯ヲ

承ハリマシテ、大體ハ了承イタシマシタ、

尚ホ大正十四年ノ調査ヲ、其當時ト、今日

ノ經濟狀態方違フト云フコトヲ、御認メニ

ナツテ居リマス、我々ハ地租ノ上シタ時分ニ

比シマスト、十三四年ニ一段歩五六百圓シ

タ田地ガ、最早百五十圓デモ買手ガナイ、

其土地ノ價格ガ低下シマスト、其土地ノ收

益ガ無論非常ニ變テ來マスカラ、此收益ヲ

課稅標準トスル今回ノ賃貸價格ヲ御執リニ

ナル以上ハ、始終此收益ニ動カサレルト云

フコトヲ御考ヘ下サレテ、今後御善處アラ

ムコトヲ望ンデ置キマシテ、更ニ御問ヒヲ

致シマセヌガ、此際私ハ一言附加ヘテ置キ

タヨトハ、我々ハ此國民負擔ノ輕減ト云

アリマスガ、今回ノ此減稅案ハ其內容ト云

ヒ財源ト云ヒ、又之方實行セムトスル此出

發點ト云ヒ、我々考ト大ニ異ニ居ル點ガ

アリマスノデ、私ハ此減稅案ニ付テハ餘程

研究ヲ要スルト考ヘタ次第アリマス、殊ニ私ハ第一ニ承ハリタイトシテ昨日申上げ

タ所ノ此軍縮ト、國民負擔ノ輕減ヲ結付ケ

タト云フコトハ、私ハ國民思想ニ……我國

ノ傳統的ノ國民思想ニ非常ナ影響ヲ與ヘル

ト考ヘタカラデアリマス、即ち今日ハ國防

ノ徳アリマス、昔カラ永ラクノ間地價ヲア

リバ、實際ノ事情ニ今般ノ改正ノ方ガ餘

程適當スルコトト我々ハ考ヘテ居ラヌ

ゴザイマス、御承知ヲ願ヒマス。

○玉井清一郎君 簡單デゴザイマスカラ、

此席カラ……

○議長(公爵徳川家達者) 宜シウゴザイヤス

○玉井清一郎君 只今大藏大臣ノ御答辯ヲ

承ハリマシテ、大體ハ了承イタシマシタ、

尚ホ大正十四年ノ調査ヲ、其當時ト、今日

ノ經濟狀態方違フト云フコトヲ、御認メニ

ナツテ居リマス、我々ハ地租ノ上シタ時分ニ

比シマスト、十三四年ニ一段歩五六百圓シ

タ田地ガ、最早百五十圓デモ買手ガナイ、

其土地ノ價格ガ低下シマスト、其土地ノ收

益ガ無論非常ニ變テ來マスカラ、此收益ヲ

課稅標準トスル今回ノ賃貸價格ヲ御執リニ

ナル以上ハ、始終此收益ニ動カサレルト云

フコトヲ御考ヘ下サレテ、今後御善處アラ

ムコトヲ望ンデ置キマシテ、更ニ御問ヒヲ

致シマセヌガ、此際私ハ一言附加ヘテ置キ

タヨトハ、我々ハ此國民負擔ノ輕減ト云

アリマスガ、今回ノ此減稅案ハ其內容ト云

ヒ財源ト云ヒ、又之方實行セムトスル此出

發點ト云ヒ、我々考ト大ニ異ニ居ル點ガ

アリマスノデ、私ハ此減稅案ニ付テハ餘程

研究ヲ要スルト考ヘタ次第アリマス、殊ニ私ハ第一ニ承ハリタイトシテ昨日申上げ

タ所ノ此軍縮ト、國民負擔ノ輕減ヲ結付ケ

タト云フコトハ、私ハ國民思想ニ……我國

ノ傳統的ノ國民思想ニ非常ナ影響ヲ與ヘル

ト考ヘタカラデアリマス、即ち今日ハ國防

ノ徳アリマス、昔カラ永ラクノ間地價ヲア

リバ、實際ノ事情ニ今般ノ改正ノ方ガ餘

程適當スルコトト我々ハ考ヘテ居ラヌ

ゴザイマス、御承知ヲ願ヒマス。

○玉井清一郎君 簡單デゴザイマスカラ、

此席カラ……

○議長(公爵徳川家達者) 宜シウゴザイヤス

○玉井清一郎君 只今大藏大臣ノ御答辯ヲ

承ハリマシテ、大體ハ了承イタシマシタ、

尚ホ大正十四年ノ調査ヲ、其當時ト、今日

ノ經濟狀態方違フト云フコトヲ、御認メニ

ナツテ居リマス、我々ハ地租ノ上シタ時分ニ

比シマスト、十三四年ニ一段歩五六百圓シ

タ田地ガ、最早百五十圓デモ買手ガナイ、

其土地ノ價格ガ低下シマスト、其土地ノ收

益ガ無論非常ニ變テ來マスカラ、此收益ヲ

課稅標準トスル今回ノ賃貸價格ヲ御執リニ

ナル以上ハ、始終此收益ニ動カサレルト云

フコトヲ御考ヘ下サレテ、今後御善處アラ

ムコトヲ望ンデ置キマシテ、更ニ御問ヒヲ

致シマセヌガ、此際私ハ一言附加ヘテ置キ

タヨトハ、我々ハ此國民負擔ノ輕減ト云

アリマスガ、今回ノ此減稅案ハ其內容ト云

ヒ財源ト云ヒ、又之方實行セムトスル此出

發點ト云ヒ、我々考ト大ニ異ニ居ル點ガ

アリマスノデ、私ハ此減稅案ニ付テハ餘程

研究ヲ要スルト考ヘタ次第アリマス、殊ニ私ハ第一ニ承ハリタイトシテ昨日申上げ

タ所ノ此軍縮ト、國民負擔ノ輕減ヲ結付ケ

タト云フコトハ、私ハ國民思想ニ……我國

ノ傳統的ノ國民思想ニ非常ナ影響ヲ與ヘル

ト考ヘタカラデアリマス、即ち今日ハ國防

ノ徳アリマス、昔カラ永ラクノ間地價ヲア

リバ、實際ノ事情ニ今般ノ改正ノ方ガ餘

程適當スルコトト我々ハ考ヘテ居ラヌ

ゴザイマス、御承知ヲ願ヒマス。

○玉井清一郎君 簡單デゴザイマスカラ、

此席カラ……

○議長(公爵徳川家達者) 宜シウゴザイヤス

○森田福市君 森田福市君ノ登壇ヲ望ミマス

(森田福市君演壇ニ登ル)

○森田福市君 私ハ只今議題ニナツテ居リ

マスル減稅案ニ對シテ、簡單ニ要旨ヲ質問

シテ見タイト思ヒマス、先般長岡サンカラ

相當詳シタ、詳細ニ御質問ニナツタノザアリマスルガ、政府ノ答辯ガ餘りニ簡単アリマシテ、後ニ至テ速記錄ヲ讀ンデ見マシテケレドモ、質問ノ要旨ニハ副フテ居ラヌマシテアリマス、アノ答辯ガ完全ニ當嵌シテ居レバ、今日御尋セシモ要領ヲ得ルアラレト私ハ考ヘルノデアリマス、ドウシテモイカト心配シタノデアリマス、ドウシテモ軍縮ヲモット強クヤッテ、サウシテ我々ノ負担ヲ減スル、斯ウ云フ立前ニナリマスト、今後斯ウ云フ我國ノ財政狀態ニアリマスト、斯ウ云フ國民思想ガ出テ來ス、即チ二十七八年ノ戰役後ニ於テ、國民ハ臥薪嘗膽ヲヤッテ、總理大臣以下俸給ノ一部ヲ獻納シ、國民亦共鳴シテ製艦費ヲ獻納シテ、其結果ガ自露戰爭ニ於テ彼ノ日本海ノ大捷ヲ得タノデアリマセヌカ、此精神ハ必ズモ此國防ノ上バカリニ於テ利用シ得ル精神ヂヤアリマセヌ、之方ヲ維持シナケレバ、我々國家ト云フモノハ私ハ誠ニ危イヤウナ氣ガ致スノデアリマス、此精神ハ必ズモ此國防ノ上バカリニノニ減稅ヲスルノハ宜クナイ、所謂海軍ノノニ減稅ヲスルノハ宜クナイ、所謂海軍ノノ質問ノ要旨ヲ承テ居リマス、減稅スルノハ財源ガナインデハナイカ、財源ノナインデモナインデアリマセウガ、私ガ耳ガ惡イノデ左様ニ聞コエタノカモ知レマセヌガ、私ハソレハ少シ方角ガ變テ居ルノデアリマス、今日ノ此國民ノ困テ居ル場合、而モ農村竝ニ勞働者ノ疲弊困憊ニ陥テ居る場合ニ、減稅ト云フコトハ必ず必要デアリマス、國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトヲシテヤラナケレバ、將來國家ニ一旦事ガ有シタヨトハ御考ヘ下サレテ、以テ國民ニ此風潮ニ影響スルコトガアリテハ私ハナラスト思ヒマスカラ、此質問ヲシタ次第アリマス、カラ、政府ニ於カレマシテモドウゾ、此國民精神ノ廢頽セナイヤウニ、十分ノ御注意ヲヤッテ頂キタイト云フ考ヲ有シテ居ルノデアリマスガ、今回ノ此減稅案ハ其內容ト云ヒ財源ト云ヒ、隨分我儘ナ豫算ノ要求ヲシテヤラナケレバ、減稅ハ必ず必要デアリマス、而モ豫算ニ依テ拜見シテモ、陸軍ト云ヒスルカ、斯ウ云フ方面ニ思ヒテ致シテ見マシタラバ、減稅ハ甚ダ節約ヲ行ハズ、甚ダ節約振リニ我々ハ不滿ノ意ヲ表シテ居ルノデアリマス、政府ハ財源ヲ倫敦條約ニ求メテ居ラレマス、アノ倫敦條約ト云フモノハ私等ノ考ヘ、又先般來ノ機會毎ニ質疑應答ヲ重ねテ、レタ結果ニ依テ見ルト、幣原總理大臣代理ト雖モ成功アルトハ、ヨモヤ仰

有ラヌダラウ、從テ今日ハ物質的ヨリモ精神的ニ成功デアルト云フヤウナコトヲ申シテ居ラレマスガ、精神的ニニモ失敗デアリマス、精神的ニ成功シテ居ルノハ英米ダケデアリマス、日本ノ國民ハ決シテ此方面ニ於チモ成功トハ思ウテ居ラヌ、タゞ一人總理大臣代理ノミガ成功ト思ウテ居ラレル、マシテ、日本ノ國民ハ決シテ此方面ニ於チモ成功トハ思ウテ居ラヌ、タゞ一人總理大臣既ニ失敗トモ成功トモ言明シナリ、斯様ニ仰有シテ居ルノデアリマス、ソコデ私方、太藏大臣ヂ結構デアリマスガ、御尋ネスルノハ中央稅ニ於テ二千二百五十万圓ヲ半年度ニ於キマシテ一年當リ二十ニ三錢、一箇月二錢、一日ニ七毛ノ減稅デアリマス、朝日ヲ半分節約スルハ一日分ノ減稅ニ相當シテ來ルノデアリマス、又昭和六年度、所謂本年度限リノ減稅ハドウデアルカ、即チ政府ノ云フコトヲ假定イタシマシテモ、半年度ニ於キマシテ一人當リ二十三錢、一箇月二錢、一日ニ七毛ノ減稅デアリマス、朝日ヲ半分節約スルハ一日分ノ減稅ニ相當シテ來ルノデアリマス、又昭和六年度、所謂本年度限リノ減稅ハドウデアルカ、即チ政府ノ云フコトヲ一箇月ガ從テ八厘強、一日ガ二毛強、是ダケモノノ得心ヲ満足ラスルト心力有リ思ハレルノデアリマセウカ、私ハ是ハ要スルニ民政黨方後日選舉ニ臨ンダ場合ニ倫敦條約ニ依テ生ズル財源ヲ以テ國民ノ負擔ヲ輕減シテヤルト云ヒタ建前ガアルカラシテ、是ダケノ減稅ヲシテ置イテ、サウシテ後日ノ選舉ニ備ヘル、屢々私ガ申シマシタラバ、如何デアリマセウカ、此間カラノ先輩各位ノ質問ニハ雀ノ涙ダト仰有イマスガ、私ハ雀ノ涙モ少し大キイ、蚤ノ涙ニモ相應

三毛ノ減税ヲシテ、サウシテ今日ノ國民方助カルト思ハレルノガオカシイ、是ハ政府ノ諸公ト雖モ是ニ満足スルデアラウトハ思ウテ居ラレマイ、而モ大藏大臣ハ先般來屢此點デ宜イト思ウテ居ラヌカラ、昭和六年度ニ於テ財政、行政、稅政ノ調査會ヲ設ケテ、サウシテ負擔ノ衡平ヲ圖ル方法モ取り、一方行政方面ノ整理モ行フ、斯ウ云ウテ居ラレルノデアリマス、然ラバ來ル議會ニハ再ビ又稅制ノ計畫ナリガ出ルノデハアリマセヌカ、ソレデアルナラ何ヲ急イデ僅力一日二毛ソコラノ減税ノ爲ニ、斯様ナ案ヲ茲ニ御出シニナルノデアリマセウカ、マサカ與黨二百七十人ヲ御持チニナツテ來ル議會マデニ此内閣ガ倒レルモノデモアリマスマイ、又斯ウ云フ國民ニ非常ニ爲ニナル内閣ハ早ク倒シテハイカヌノデアリマス、長ク居テ貴ハナケレバイカナイ、然ラバ私ガ言フノハ、今年ノ中ニ斯様ナ小サナ減税ヲヤルヨリモ、來ル調査會ニ於テ完全ナ調査ヲ行ッテ、サウシテ十分國民ノ負擔ヲ輕キシテヤルヤウナ完全ナ稅制案ヲ御出シニナツテハ如何デアリマセウカ、我と國民ハ僅ニ一年ニ九百万圓、或ハ昭和七年以後ニ二千二百五十萬圓位ノ減税ヲシテ頂キマシテモ、決シテ負擔ガ輕クナツト云フヤウナ氣持ハ致シマセヌ、ソレヨリハ一箇年半年度ニ於テ二十三錢デアルナラバ、朝日ヲ一ツ半分、煙草ニスレバ……或ハ餽飪ノ一杯モ節約シテ居レバ、ソレデ減税ニ相當スルノデアリマス、タダ是ハ要スルニ私ノ考ヘルニハ將來ノ選舉ニ備ヘルニハ、將來ノ選舉ニ備ヘル爲ニ、倫敦條約ガ成功デアタ其立證トシテ、茲ニ減税ヲ行フタト云フ黨勢擴張ノ具ニ供サレルダケデ、事實ヲ知ブタ國民ニハ、變增稅ニナツノデハアリマセヌカ、地方稅ニ於テハ非常ナ増稅ニナツテ居ル、而モ都市

ニ於テハ、三十割乃至六十割モ増稅ニナシテ、居ルノデハアリマセヌカ、現政府諸公ハ農村ガ誠ニ疲弊困憊ニ陥テ居ルト云フカラ、直チニ農村ガ疲弊困憊ニ陥テ居ル其代リトシテ、都市ハ非常ニ惠マレテ居ルト御考ヘニナシテ居ルノデアリマセウカ、其點ハ如五十万圓ト云フ増稅ニナシテ居ル、而モ世ノ何、都市ノ方面ニ持テ行<sup>ハ</sup>テノ増稅ハ先般一般ノ人ハ減稅案ト云フ觸レ出シガウマイカラ、何程カ減サレルノデアラウ、二階カラ目藥、天井裏カラ足ヲ出シテ、何ノ足シニモナラヌヤウナモノヲ、増稅ニナルヨリハ宜カラウト考ヘテル人ガ多クハアリマスマイカ、果シテ然ラバ世ノ人ミニ、所謂都市ノ人ミニ、是ダケノ減稅ニナルノデアルゾト云フコトヲ、何故政府ハ宣傳サレルノデアリマスカ、減稅デアルト云フ名前ガウマイカラシテ、減稅デアルト互ヒニ我モ人モ信ジテ居ルノデアリマスガ、結果ニ於テハ十府縣ト云フモノガ増稅ニナル、十一府縣ガ增稅ニナシテ、十八府縣ガ居据リデアッテ、其他ノ縣ガ漸ク何程カノ減稅ニ有リ付カレルト云フヤウナ有様デ、國民ガ満足スルデアリマセウカ、政府ハ之ヲ減稅案ト稱サレル中ノ間ニ今一字ヲ加ヘラレテ、減增稅案ト御修正ニナル方ガ適當ナ法案ノ名前デハアルマイカト我<sup>ハ</sup>考ヘルノデアリマス、而モ國民ノ眞ニ困<sup>ハ</sup>テ居ル負擔ハ中央稅ニアラズシテ、所謂直接國稅ニアラズシテ、アルママイカト我<sup>ハ</sup>考ヘルノデアリマス、リマスマイカ、府縣市町村稅ニ全ク負擔ニ堪ヘヌヤウニナシテ居<sup>ハ</sup>テ、地租トカ營業収益稅トカ、其他ノ直接國稅ハソレ程困<sup>ハ</sup>テ居ラスト、私ハ考ヘテ居リマス、勿論少クナリニ越シタコトハナイガ、ソレハ納メラレル、納メラレヌト云フ境界線ニハ達シテ居ナイ、兎モ角モ一番多イ府縣及市町村費、其ノ負擔ノ中デモ、教育費ノ方ノ負擔方六

割乃至七割ヲ持テ居ルノデアリマズ、デアルカラ政府ガ眞ニ國民ノ負擔ヲ多少タリトナラバ、進ンデ何故地方費ノ負擔ヲ輕減ヲナサル手段ヲ御取リナサラスノデアリマスカ、地方費ニ於テハ非常ニ増シテ來ル、而モ市街地ガ大變増税ニナル、或ハ政府ト市街地ノ増税ニナルコトハ一向差支ナイ、ソレハ土地持チガ納メルノデアルカラト云フヤウナ御考ガアリマセウガ、今日人地主ハ公課ツキデ、土地ヲ貸付ケテ居ルコトハ政府ハ御承知ノ通リデアリマス、公課ヲ以テ其土地ヲ一坪幾ラメ借リテ、サウシテ、其借主ガ其公課ヲ拂<sup>ツ</sup>テ行キツツアルノデアリマスカラ、其地上ニ立<sup>ツ</sup>テ居ル貸家ノ家賃ニ轉嫁セザルヲ得ヌノデアリマス、殊ニ地租ヲ私ハ不審ニ思ヒ、マスノハ賃貸價格ニ改メラレ、而モ賃貸價格ニ改メテ一回ノ實行モセズ、所得貸付賃貸價格ニ依ル地租ノ徵收ヲ一回モ行ハズシテ、今回初メテ賃貸價格ニ依ル地租ヲ徵收スルニ際シテ、政府ガ言ハルルガ如キ千八十八萬圓ノ減税ニナルト云フコトハ甚ダ私ハ其意ヲ得ヌノデアリマス、而モ若シソレガ事實デアルト政府デ仰<sup>ツ</sup>シヤルナラバ。

ナイト云フコトヲ此壇上ニ於テ議論ヲシタ  
時ニ、時ノ大藏大臣・現總理大臣ノ濱口氏  
ハ確實ニアル、間違ヒガナイト云フ正札ガ  
ツケラレタモノガ、其翌々年ノ決算報告ニ  
何ト出マシタ、營業税、營業収益稅ヲ合セ  
テ八千三百万圓ノ增收ヲナシテ居ルデハ  
アリマセヌカ、稅制ノ改正ヲスル度ニ其都  
度増稅ヲ爲サル、名前ハ減稅ト云ヒ、或ハ  
外形稅ヲ內容稅ニ改メルト言ヒ、隨分所謂  
宣傳ハ上手デアリマスガ、國民ノ負擔ハ更  
ニ減シテ居ラヌ、即チ前年ノ所謂營業稅ヲ營  
業収益稅ニ改メル時ニ此當壇上ニ於テ言明  
サレタコトト、後日ソレガ決算ニ現レテ參  
リマシタコトハ、驚ク勿レ、三千万圓ノ  
増徵ニナクテ居ルデハアリマセヌカ、今回ノ  
減稅案ノ名ハ減稅案デアント、實ハ國民ニ對  
シテハ增稅案ナノデアリマス、併シ私ハ茲  
ニ於テ然ラバドウスルカ、私ハ左様ナ案ナ  
ラバ宜シク出直シテ貰フ、即チ今少シク國  
民ノ負擔ガ眞ニ輕クナルヤウニシテ戴キタ  
イガ、政府ハソレニ對シテ倫敦條約以外ニ  
財源ガナイ、倫敦條約ノ財源ハ五億八百万  
圓デアリマス、五億八百万圓ノ財源ヲ、海  
軍ノ第一補充計畫ニ持テ行ッタ殘リヲ減稅  
ニスルト仰シヤル、確カ此壇上デ濱口總理  
大臣ガ言明サレタコトハ左様ナ言明ヲ承  
テ居ラヌ、倫敦條約ニ依テ生ズル財源、五  
億八百万圓ヲ國民ノ負擔ノ輕減ニ充テルト  
仰シヤタモノガ、何時ノ間ニハ條約ノ手段  
方法ガ悪カクガ爲ニ、アノ條約ノ儘デハ我  
國ノ國防ヲ完ウスルコトガ出來ナイ爲ニ、  
第一補充計畫ト云フモノガコソリ海軍ノ  
方カラアトカラ齋ラシテ出テ來タ、是ガ即  
チ條約ノ成功デハナクシテ失敗デアル、ア  
ノ條約サヘナカツナラバ、今日ノ第一補充  
計畫ハゼズニ濟ンデ居ル、成功ト云フナラ  
バ五億八百圓金額ヲ國民負擔ノ輕減ニ割當  
テテコソ成功デアル、サウ云フナラバ、幣  
原首相代理ハソレハ物質的デハサウデアル  
ガ、精神的ニ成功シタ、斯ウ又答辯ノ方角

ヲ捻返ラレルニ違ヒナイ、精神的ニハ私  
日本ノ國民ガ一人トシテ成功ト思テ居  
者ハナイト思フ、現在私ハ斯フ云フコトヲ  
總理大臣代理ニ特ニ御尋ネシテ見タイト思  
ヒマスガ、減稅ト云フモノハモレ少シウン  
トヤツテ貰ヒタイ、一箇年二千五百万圓ソコ  
ラデナシニ實際國民一人當リ、少クトモ一  
圓ヤ一圓五十錢ノ減稅ニナルヤウナ方法ヲ  
トツテ戴キタイト云フ切ナル希望ニアリマ  
スガ、ソコニ於テ財源ハ然ラバナイト仰シ  
ヤルデアリマセウガ、私ハ財源ハ澤山アル  
グラウト思フ、ドウ云フ方面ニ財源ガアル  
カト云フコトニナルナラバ、私ハ此壇上ニ  
於テ、最初御尋ネシタ積リデアリマスガ、  
官吏軍人ノ減俸ヲ何故オヤリニナラヌノデ  
アリマスカ、井上大藏大臣ハ官吏軍人ノ減  
俸ヲヤルヤラヌト云フ答辯ハ與ヘラレズ  
ニ、單ニ後日行政、稅制、財政ノ調査會ヲ  
設ケテ其研究ノ結果ニ依フテ、適當ナル整理  
ヲ行フト云フヤウナ御答辯ニナフテ居リマ  
スガ、此現在ノ官吏ヤ軍人ノ給料ニ言及ス  
ルト御氣ニ召サヌ人モ段々アルト私ハ考ヘ  
マスガ、併シ多數ノ國民ノ爲ニハ已ムヲ得ヌ  
コトデアリマス、一體米價ガ小賣ガ五十錢  
内外ヲ往來シテ居ル時ニ、現在ノ官吏ニ對  
シテハ五割乃至八割ノ増俸ヲシタ、今日米  
ガ先日政府委員ノ答辯ニ依ルト、アノ米穀  
法ニ依リ米價ノ基準價ニスルトスルト御  
答ニナフテ居ルノデアリマスガ、果シテ然ラ  
バ十八圓二十八錢ヲ以テ米價ガ石四十五圓  
一石十八圓二十八錢以上二割マデノ增減ヲ  
認メテ、之ヲ米價ノ基準價ニスルトスルト御  
答ニナフテ居ルノデアリマスガ、果シテ然ラ  
官吏ヤ軍人ノ俸給ハ即チ米價ガ石四十五圓  
乃至五十圓ノ當初ニ増俸サレタモノデアリ  
マス、農民ノ收入、所謂國民ノ收入ノ基準  
價ハ引下ゲルガ、官吏軍人ノ基準給料ハ下  
ゲナイト云フヤウナコトハ、衆シテ公平ナ

政治ノ執リ方アリマセウカ、今日此方面カラ、財源ヲ御生ミニナルナラバ、三千万圓ヤ四千万圓ノ財源ハ生ミニ出スコトハ易々タルモノデアルト秋ハ考ヘテ居リマス、而モ又其外ニハドウ云フ方面ニアルカト云フト、其外ニハ三百万圓ヤ五百万圓ヤソコラノ財源ヘ、ソコラタリニ轉ンデ居ル、ドウ云フ風ニ轉ンデ居ルカト云フナラバ、先般豫算總會戴イタヤウニ、各省ニアル所色ニノ調査會、所謂官制ニ依リ法律勅令ニ依ル所ノ各省ノ調査會ダケデモ、普通會計特別會計合セテ約百五十アルデハアリマヌカ、其金額百七十萬圓ニ垂ントシテ居ルデハアリマセヌカ、其外ニ官制ニ依ラザル、所謂社會事業調査會ト云フヤウナ官制ニ依ラザル方面ニ調査會ガ幾ツアルヤラ、之ヲ政府ニ請求シテ居リマスガ、ソレヲ御出シニナラヌ、ソレハ都合ガ惡イカラ御出シニナラヌノデアリマスルガ、都合ガ惡クテモ、併シ一般議員ガ請求シタモノハ御出しナシテ見レバ宜シト思ヒマス、而シテドウ云フ方面ニ、ソレヲ誰ガ取ルカト云フト、是ハ下級官吏ガ取ルノデハナイ、上級官吏ノ少クトモ勤任官程度ノ人ノは年末賞與アル、幹事トカ理事トカ色ニナ名前ヲ付ケテ、是ガ年末賞與のノ總花式ノ金ニナシテ、下級官吏ニ行クモノデハナイ、上級官吏ノ餘得收入、サウ云フコトニ其大部分ガナッテ居ルノデアリマス、併シ是ハ官吏ガ全部其恩典ニ浴シテ居ルトハ申シマセヌ、其調査會ヲ持テ居ナイ方面ノ官吏ニハ勿論俸給以外ハナイノデアリマスカラ、此點モ公平ヲ期スル上ニ於テハ、斯カル調査會ハ御殿止會ナドヲ作テ金ノ五万圓モ使フテ失業モノモ矢張り減税ノ方面ニ御振向ケニナモ方ガ適當ナモノデハナイカト考ヘルノ

ト、失業者ヲ防止スル調査會ヲ設ケテ五万圓ノ金ヲ使シテ見タ所ガ果シテ失業者ヲ防止スルコトガ出來マセウカ、失業者ノ防止ヲスル爲ニ五万圓ヤソコラノ金ヲ使タ爲ニ失業者ノ防止ナドハ出來ルモノデハアリマセヌ、而モ失業者ハ屢々私ガ申上ゲルヤウニ、此内閣ニ依テ御造リニナッテ、此内閣ガ奮闘努力シテ此失業者ヲ御造リニナシテ、サウンシテ其内閣自ラガ五万圓ヲ投ジテ調査會ヲ設ケテ防止シヤウ、五万圓ノ金テ今日ノ失業者ノ防止が出來レバ結構ノ構造アルガ、出來ナイコトハ明カデアリマス、併シ政府ハ成ベクサウ云フ方面ノ調査ヲシテ失業者ヲ少クスルト云フヤウナ御話ニナルデアラウト思ヒマスガ、私ハ甚ダ左様な方面ニ使フ冗漫ナ金ガアルナラバ、此減税案ノ財源ノ中ニ御加ヘニナシテ宜シイ、減税ノ財源ハ必シモ倫敦條約ニ依シテ生ズル金デナケレバナラヌト云フ規定ハナイノデアリマス、何處カラ御求メニナシテモ宜シイ、小サナコトデアリマスケレドモ、尙ホはハ政府ニ注意ヲシテ置キタイ、或ハ他ノ機會ニ於テ御意見ヲ聽キタイト思フノデスガ、此地和法ノ中ニ二三私ハ、不完備ナ所ガアル、假ニ若シ是ガ通過シタ場合ニハ大變問題トナルト思フノデアリマスガ、一體地積測量ノ呼稱……、呼ビ方ヲ何ノ爲ニ「メートル」トカ、或ハ「アール」デアリマシタカ、「メートル」ダノ「アール」ダノト御改メニナルノデアリマスカ、外國ニ關係アルコトナラバ左様チ「メートル」法ヲ御用ヒニナルコドモ宜シイガ、外國人ニ賣賣スルノテアリマセヌ、又左様ナ偉イ者ハ百姓ナドヲシテ居リマセヌ、從テ之ヲ賣賣ヒスルノニ凡ソ宅地ハ「メートル」何ンボ、田畠ハ「ア

「何ンボ、之ヲ頭ニ入レルマデノ間ニ  
既ニ今日ノ百姓ハ死ンデシマヒセヌカト  
我ミハ思フ、斯ウ云フ方面ニ……又之ヲ  
改正スル爲ニ土地臺帳ノ改正ニ幾多ノ要ラ  
ナイ費用ヲ使フト思ハレルノデアリマス、  
政府ハ附則ニ於テ當分ハ現在ノ法律ニ依  
ル、所謂土地臺帳ノ出來ルマデハ第七條ノ  
規定ニ拘ラズ現在ノ通リニシテ置クト言ハ  
レマスガ、一體土地臺帳ハイツ御作リニナ  
ル御積リデゴザイマスカ、サウンティツ是  
ハ斯ウ云フヤウナ難カシイ名前ノ呼ビ方ニ  
改メラレルノデアリマスカ、我が國民ニハ  
慣レ切々テ居ル、ドウモ歐米ノ眞似ヲシタガ  
ル癖ガ日本人ニ甚ダ多イ、私等モアチラノ  
事ハ多少知ツテ居ルケレドモ、良イコトモア  
レバ惡イコトモアリマス、斯様ナ何町何段  
何畝ト云々テ能ク分テ、而モ外國トノ取引  
ニ何等關係ガナイコトヲ、宅地ハ「メート  
ル」田地田畠ハ「アール」ト云フヤウナ風ニ  
改メテ、サウシテ測量ヲ仕換ヘテ、初メテ、  
モトハ一町何ンボデアッタガ、今ハ「何」アーラ  
ル「何ンボ、モトノ町ニシテ君幾ラニナル、モ  
トノ町ニ勘定シテ見ルトスウダ、「マルデ二  
通りモ三通りモ算盤ヲ持テ行カナイト、  
ハツキリ頭ニ這入ラナイ、斯ウ云フ餘り新ラ  
ンガルコトモ宜シイガ、何モ新ラシカッテ、  
イツノ法律デモサウデアリマスガ、小笠原  
島以下伊豆七島、是ハ先般ノ或ル特別委員  
會デ先輩ノ議員ノ御方ガ御話シニナッテ居  
リマシタ、私モ始終其事ヲ頭ノ中ニ入レテ  
ラシテ居ルモノライツマデモ免稅ノ地ニシ  
ナツテ居ル、免稅ニナツテ居ル、果シテ今日  
ノ小笠原外伊豆七島ガ免租地ニ適當スルカ  
ドウカ、アノ程度ノ收入、アノ程度ノ生活  
居リマシタガ、アノ方面ガイツデモ、免租ニ  
テ置クナラバ、沖繩縣ノ方面ニハアレ以上  
ノ免稅ヲ與ヘナケレバナラヌ、一沖繩縣ノ  
ミニラズ此本土ニ於テモ山間ノ方面ニ於テ  
ハアノ地方以下ノ生活ラシテ居ル所ガ澤山

地方ヲ免稅地ニナサルナラバ必ズ伊豆七島小笠原島ニ限ラズ、全國ノアノ程度以下ノ所ヲ免稅ニナスクテハ如何アリマスカ、サウヂナカツタナラバ矢張リ小笠原島外伊豆七島等モ今日ノ場合ハ徵稅ヲ爲サルコトガ公平デアリハシマセヌカ、澤山ナ法律案ヲ御出シニナルノアルカラ、ナカヽ政ノ御方モ頭ヲ要スル、依テ完全ナルモノヲ御出シニナルコトハ困難デアリマセウ、此内閣ハドウ云フモノカ、重要法案ヲサウジテ國民ニ餘リ關係セヌモノヲ澤山御出シニナル、ソレハ選舉ノ時ノ宣傳ニ用ヒル爲デ、通過ヲ希望シテハ勿論アリマセヌ、從チ今回出テ居ル如キモノデモ此一夜漬ケノ減稅案ヲ出シテ見タリ、或ハ勞働組合法案ノ如キ、或ハ小作法案ノ如キ、或ハ今回ノ婦人公民權ノ案ノ如キ、ドレヲ見テモ國家ノ現在ノ此產業及農村一般ノ施設ノ疲弊ニ陥ルチ居ル場合ニ必要ナ法律案ハ一ツトシテ無イ、而カモドノ法律案モ、勞働組合法ト云フモノモ資本家モ喜バナケレバ勞働者モ喜バナイ、小作法案亦然リ、此減稅案亦然リ、婦人ノ公民權案亦然リ、婦人ノ方デモ二十歳マデニシテ吳レ、或ハ國會議員ノ選舉權被選舉權マデモ吳レトカ、一部ノ人ハ未ダ早過ギルト云フ、政府ダケハ獨リ此法律案デ宜カラウト云フノデアル、誰モ之ニ對シテ、何レカ一方ダケデモ満足スルヤウナ案ヲ御出シニナクタラドウヂアルカ、資本家ガ満足スルカ、勞働者ガ満足スルカ、或ハ又小作法ニ於テモ、此減稅案ニ於テモ、國民ノ一方的ニ相對的ニダケデモ満足スルモノヲ御出シニナレバ宜イノニ、ドレ一ツトシテ満足スルモノガナイ、而シテ是デモ選舉ノ時ニ上手ニ政談演説ヲシテ歩カレルノデアリマスカラ、多少ハ票ハ捨ヘルカモ知ラヌガ、此法案デ御骨折リニナッタ程ソレ程牧穢ハ少イカモノ知レマセヌ、又今一ツ私ガ御伺ヒシテ見タイノハ、一體此減稅ヲ

モノガアリハセヌカ、即チ多年叫バレテ居ル所謂産業方面ノ發達ヲ圖ル爲ニ現在ノ綜合課稅ヲ源泉課稅ニ改メテ貲ヒタイト云フコトハ多年ノ企業家ノ熱望デアルノデアリマス、而カモ今日ノ産業ガ萎靡シテ振ハザル原因ハ此綜合課稅ガアル爲デアルノデアリマス、而モ斯ウ云フ方面ハ政府ハドウ御考ヘニナリマスカ、法人ガ收益ヲ擧ガタ場合ニ其收益ノ配當ヲ貰フ、又法人カラ矢張リ營業收益稅ヲ御取リニナシテ、所得稅ハ勿論デアリマス、其又配當金ヲ受ケル株主ハ勿論又綜合所得モ拂テ居ルノデアリマス、即チ一ツノ資本ノ勘キニ依テ得タルモノニ對シテ稅金ヲ三重ニ納メテ行シテ居ル狀態デアリマス、是等ガ果シテ公平ナル稅ノ制度デアリマセウカ、若シ是ガ公平ナリト言ハル、ナラバ、他ノ事業ニ向シテ全部三重制度ノ稅制ヲ御布キニナランケレバイカヌデハアリマセヌカ、而カモ減稅ニ持テ行クヤウナ場合ガアリタ時ニハ斯様ナ不備ナレナカツノデアリマスカ、此稅制ニ付テノ若シ政府ノ答辯ニ要領ヲ得ナケレバ詳シク改メテ申上ゲテモ宜シウアリマス、私ハモ井上大藏大臣ハソコニ何故ニ思ヒヲ致サレナカツノデアリマスカ、此稅制ニ付テニ、一應今ノ點ヲ御尋不シテ更メテ又御尋ネスルコトニ致シマス

ス、併ナガラ只今仰セラレタコト、我々  
ガ直接行政財政ノ事務ニ當テ居リマス當  
局者トシテノ間ニ、多少ノ考ノ相違ガアリ  
マスカラ、私ハ御間ニハナカッタケレドモ  
簡単ニ申シテ置キマスガ、昨日モ申シマシ  
タ如ク、一般財政ノ節約整理ニ依テ減税  
ヲスルト云フコトハ至極結構デアル、併ナ  
ガラ御覽下サリマスヤウニ、租稅ト官業收  
入ダケデ一億五千五百万圓モ急激ニ減シテ  
居リマス昭和六年度ノ豫算デアリマス、サ  
ウシテ而モ昨日申上ダマス如ク、海軍ノ補  
充計畫ヲ完全ニシタイ、減税モシタイト云フ  
コトノ爲ニ五億八百万圓ノ留保財源ニハ手  
ヲ著ケナカタ、從チ其減ルダケノ金ハ各省  
ノ歳出ヲ減シクト、斯ウ云フ有様デアリマ  
スノデ中々其間ニ努力ヲ致シマシテモ、一  
般財源カラ減税ニ振向ケルダケノ餘裕ガナ  
カタクト云フコトデアリマス、ソレナラバ次  
ノ質問ニ移ツテ斯シナ些少ナ減税ナラバ一  
時止メタラドウカ、即チ來年ニ此昭和六年  
度ニ財政ノ整理ヲスルナラ、其時マデ停止  
シテ置イタラドウカト、斯ウ仰シヤラレマ  
スガ、昭和六年度ニハ稅制ノ根本整理ヲ一  
ツ致シテ見ヤウト決心シテ居リマス、併ナ  
ガラ再々申シマシタヤウナ財政狀態ニ於キ  
マシテ、果シテ我ミノ微力ニ依テ多大ノ  
減税財源ヲ見付ケ得ルヤ否ヤ、私ハ昨日モ  
稅制ノ整理ハシマスガ、ドレダケノ金高ヲ  
減税ニ振向ケマスカハ今日ノ處、的確的ニ  
申上ダルコトハ出來マセヌ、從チ我ミハ些  
少ノ高デモ今日ノ時代ニ應ジテ減税ヲスル  
ト云フコトハ財政當局者ノ最モ努メナケレ  
バナラヌ所デアル、ソレガ私ハ金額ノ多少  
ニシテモ、殆ド世界各國ハ今日ノ經濟界ノ  
此經濟界ニ對スル對策トシテ務デアル、餘  
計ナ話デアリマスガ、英吉利ニシテ務デアル、  
ニ拘ラズ、ソレガ財政當局者ノ務デアル、  
雖モ財政ノ減收巨額ノ爲ニ皆增稅ヲシテ居

態ニ對シテ些少ナ高デモ私ハ減税シ得ルト  
云フコトヲ、非常ニ財政當局者トシテハ努  
力ヲ致シテ居ル次第アリマスカラ、金額  
ノ多少ニ拘ラズ、此點ハ國民ニ對スル軍縮ノ  
結果ノ減税トシテ、我ミハ最モ是ガ急ヲ要  
スルコトト考ヘタ次第アリマス、市街宅  
地ノ稅ガ殖エル、御説ノ通リデアリマス、  
併ナガラソレニ依リマシテ市町村稅、即チ  
地租ノ附加稅ト云フモノガ、宅地租ガ殖エ  
マスレバ一方ニ殖エマスガ、其高ヲ他ノ稅  
種デ之ヲ減シマシテ、内務大臣カラ御答  
イタシマシタ如ク今後七年間ニ此整理ヲシ  
テ行カウト、斯ウ云フコトデアリマスカラ、  
只今森田氏ノ言ハレルヤウニ地租方殖エ  
テ、ソレニ依テ附加稅ガ其割合ニ殖エテ、  
ソレガ市町村ニ課セラレルト云フ意味デハ  
ナカッタカ、是モツノ考デアリマス、今日  
二千五百万圓ノ國稅ヲ減サウトスル代リニ  
非常ニ困難シテ居ルガ、何故ニ國稅ヲ減シ  
テ、サウシテ府縣市町村稅ヲ何故ニ減ラサ  
ナカッタカ、是モツノ考デアリマス、今日  
ニ一案デアリマス、併ナガラ我ミハ今日ノ  
所デハ、地租法ノ改正、農村ノ狀態ヲ考ヘ  
テ寧ロ國稅ニ於テ只今協賛ヲ仰イデ居リマ  
ケヲ地方稅デ減稅サセルヤウナコトモ確力  
ニ一箇年モ行ハズエ、ソレヲ直チニ減稅ヲシ  
テ、サウシテ稅率ヲ四トシテ六百何十万圓  
減ルガ、其割合カラ見テ到底乎八十万圓ノ  
マシタガ、賃貸價格ニ依ル地租法ノ改正ヲ  
算盤ノ計數ヲ御示シ致シマスト、ハッキリ致  
シマスガ、ハッキリ同ジ一方ハ四、一方ハ  
三・八ノ割合ニ於キマシテ、左様ニナルノ  
デゴザイマスカラ、是ハ決シテ算數ノ闇闇

ニハゴザリマセヌ、ソレカラ是ハ首相代理ニ御尋ノヤウデアリマシタガ私ノ答辯ガ不満足デアリマスレバ何レ補充サレマセウガ、軍縮剩餘金ガ全部何故ニ減税ニ振向ケラレナイカ、即チ倫敦ノ軍縮會議ガ成功デア、タト云フナラバ、全部ノ五億八百万圓全部ヲ減税ニスルノガ當然ノ義チヤナイカ、申中デ三億七千万圓以上ノ所謂軍備、海軍ノ整備計畫ニ金ヲ使用シタコトハ一方カラ言ヘバ失敗ノ證據テハナイカト、斯ウ云フシマニテアリマスモノハ、要スルニ艦艇製造費、斯ウ云フ事ニ出來テ居ルノデアリマス、從<sup>テ</sup>其中デ艦艇ニ關スル費用ヲ二億四千七百万圓取りマシテ、軍縮ガアリ圓茲ニ出來タノデアリマシテ、サウンテ其整備計畫ヲ全クスル爲ニ航空隊ノ増設或ハ内容ノ充實ノ爲ニ其上ノ金額ヲ使用シタノデアリマス、サウシテ殘リガ一億三千四百万圓シタカラシテ、左様ナ海軍ノ整備計畫ノ金額ガ少クテ濟シダノデアリマス、若シ假ニ軍縮ガナカッタ、或ハ軍縮會議ガアッテモマシタカラシテ、軍縮ガアノ程度ニ出來マシタカラシテ、左様ナ海軍ノ整備計畫ノ金額ガ少クテ濟シタノデアリマス、減税ヲ……一般財源カラ節約シテ減税ヲレバ幾ラデモ方法ガアル、第一ハ官吏ノ減俸、第二ハ調査會ノ費用ヲ節スベシ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、誠ニ御尤モナ御説デアリマセウ、官吏ノ減俸ニ付キマシテハ先日御答イタシテ置キマシタノデアリマスガ、只今ノ所、官吏ノ減俸ヲ實行シヤウト云フ考ハアリマセヌ

アリマス、此點ニ附加ヘマシテ先日モ同ジヤウナコトヲ申シテ置キマンシタ次第デアリマス、調査會ノ費用ガ百七十万圓アル、至極同感デアリマシテ……調査會ハ森田サンノ言ハレルヤウニ私ハ無用ノモノト考ヘマヌ、併ナガラ今日マヂ調査會ガ餘計過ギル、或ハ金ヲ使ヒ過ギルト云フヤウナコトハ必ズ有タコト考ヘマシテ、今日ノ調査會ノ費用ノ如キハモウ非常ニ切り詰メテ居ルノデアリマス、失業防止ノ爲ニ金ヲ五万圓使ツテ何デ失業者ガ防止出来ルカ、是程ノ失業者ハ現政府ガ拵ヘテ居ルノデヤナイカ、斯ウ云フコトノ御説デアリマシタガ、經濟界ノ變動ニ於キマシテ今日ノ經濟組織デハ失業者ハ止メルコトガ出來マスマイ、併ナガラ失業救済ヲ致シマスト同時ニ失業ナカラシムルト云フコトノ手段ト云フモノハ是ハ執ルノガ當リ前ト考ヘマス、假ニ私ガ一例ヲ申シマスレバ、即チ官業ダケデ申シマシテモ此時期ガ澤山アリマス、例ヘバ同ジ一箇年ヲ通ジテ金額ヲ致シテ行クヨトノ如キハ、今日マヂ失業防止調査會ノ最モ成功シタ所デアリマス、必シモ森田氏ノ言ハレルヤウニ無駄ト考ヘト居リマセヌ、先刻「メートル」法ノ御話ガアリマシタガ、既ニ日本ハ「メートル」法ニ變ツテ居ルノデアリマス、如何ナルモノデモ今日ハ「メートル法」ヲ實行セヌケレバナラヌ日本デアリマス、ソレデアリマスカラ、地租法ノ如キモ當初カラ「メートル」法デ立テルコトハ當然ノ儀デアリマス、併ナガラ之ニハ數年間ノ猶豫期間ガアリマスカラ、其猶豫期間ダケハ猶シテ其後ニ實行シヤウト考ヘト居リマスガ、「メートル」法ノ御攻擊デアリマシタガ、是ハモウ既ニ過去ノ事實デ日本ハ「メートル」法ニ變ツテシマンテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ綜合課稅ト源泉課稅ノコ

トニ付テ御議論ガアリマシタ、是ハ綜合課税ヲ捲ヘマシタ經濟上ノ状態ト今日ノ經濟状態ト非常ニ變ラテ居ルコトハ確カデアリマス、併ナガラ綜合課税ニハ社會政策ノ見地カラ見マスト、誠ニ棄テ難イ良イ所ガ綜合課税ニモ有ルノデアリマシテ必シモ是ガ根本カラ惡イ税ト一概ニ棄テ難イノデアリマスガ、昭和六年ノ税制調査ノ場合ニハ是モ徹底的ニ調査イタシテ見ヤウト云フコトハ考ヘテ居リマスカラ、其意味ニ於テ御承知ヲ願ツテ置キタウゴザイマス

○森田福市君 総理大臣代理ハ御答ニナリマセヌガ、御答ニナラナケレバ重ネテ御尋ネ致シマス

○議長(公爵傳川家達君) 森田君、モウ一遍、何ト仰セラレタカ、議長マヂ……

○森田福市君 総理大臣臨時代理ハ御答ヘニナリマセヌデセウカ、若シ御答ヘニナリマセヌナラバ、重ネテ御尋不申上ダマスト、斯様ニ申上ダタノデアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 私ニ對シテノ御問ノ點ハ既ニ大藏大臣ヨリ御答ヘニナタト考ヘテ居リマスガソレデマダ盡キテ居ラヌ點ガアリマスレバ、御問ヒ下サレバ御答ヘ致シマス

○森田福市君 此席カラデ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵傳川家達君) 成ルベクハ御登壇ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田福市君 時間ヲ節約シヤウト思ウチ自席カラヤリタカタケレドモ、矢張リ登壇ノ方ガ宜イサウデアリマスカラ、急イデ上タノデアリマス、總理大臣代理ハ答辯ヲセヌデモ大藏大臣カラ答辯シタカラ宜イヂヤナイカト云フ御話デアリマシタガ、私ノ御尋不申上ゲタ根本ノ點ガ御答ヘニナッテ居ラヌノデアリマス、大藏大臣ハ……即チ斯

カル減税案ト云フ案デ……御デ國民ニ對シ  
テ選舉ノ具ニ使フト思フガ、總理大臣代理ハ  
是如何ニ、斯様ナ質問ヲシタ、是ハ大藏太  
臣ハ勿論所管ガ達フカラ御答ガナイデシ  
タ、選舉ハ、内務大臣ノ所管デアリマセウガ、  
居ジレマセヌカラ、已ムナク總理大臣代理ハ  
カラ御答ヲ願ハナケレバナヌト思フノデ  
アリマス、又一體此大藏大臣ハ答辯ガ御上  
手デ右ト言ヘバ左ト言ヒ、左ト言ヘバ右ト  
言ヒセラレマスガ煎ジ詰メテ行キ居ルト云  
フト遂ニハ、ドコカデハ私ハ分々テ來ルト思  
フノデアリマス、當面ノ答辯ガ當意即妙ガ  
出來ルカラ、初メテ聽ク人ハ成程ト感心ス  
ルノデアリマス、仰シヤルコトガ時々變化  
ヲ來シマスカラ甚ダ困ルノデアリマス、第  
一貨價格ハ今年初メテ制定シタモノニアツ  
テ一度モ之ニ依リテ徵稅ヲ行ハズニ、直チニ  
シテ見ル爲ニハ、一度現在ノ貨價格ニ依リ  
是ガ減稅ヲ生ズル案ヲ御出しニナルガ、減  
稅ニナルカ増稅ニナルカ分ラヌデハナイイ  
カ、一旦貨價格ニ依リ前ノ地租ト比較ヲ  
シテ見ル爲ニハ、一度現在ノ貨價格ニ依リ  
テ徵稅ヲシテ見テ而シテ後ニ今度ノ減稅ニ  
ナル案ヲ御出シニナラナケレバ順序ガ立タ  
ヌデハナイカト申上ダタノデアリマス、從ツ  
テ數字マデ舉ゲテ大藏大臣ハ百分ノ四、百分  
ノ三・八ト〇・二ノ差ニ對シテ四百万圓ノ相  
違ガ出ルコトハ確實チヤト仰シヤッタノデ  
アリマス、何レは他ノ機會デ其ヤウナウ  
マイコトノ出ル算盤ヲ拜見出來ルダラウト  
私ハ喜ンデ居リマスガ、我ミノ習シタ算盤ヲ  
ハ〇・二ガ違タ爲ニ四百万圓ノ差ハ出ヌノ  
デアリマス、併シ是ハ勅任官トカ、奏任官  
トカ、親任官トカガ寄ニ御ヤリニナッタヨ  
トダカラ間違ヒハナインオデ、私ノ言フノハ  
間違ヒデ、政府ノ言ハレルノハ間違デハナ  
イノデアリマセウ、併シ六千万圓位ノ算盤  
ヲ御間違ヒニナル大藏大臣アルカラ、是  
ハ四百万圓ト云ヘバ非常ニ小サインオデアリ  
マスカラ、之ガ確實デアルカドウカハ後日  
ノ問題ニシテ置キタイト思ヒマス、而モ此

貨貸價格ハ四年前ニ御調べニナツタ貨貸價格  
ハ、今日ノ如キ不況ノ時代ニ御調べタ貨貸價格  
アリマス、即チ四年前ノ米價ハ二十七、八  
圓ヲ往來シテ居タ、昭和元年、大正十五年  
當時ノ米價ヲ御調べニナレバ、今日ヨリ石  
當リ十三圓乃至十五圓高イ時ニ御調べニナ  
タ貨貸價格ト本員ハ考ヘマス、政府ハ左様  
ニ御考ヘニハナラヌデアリマセウカ、四年  
前ノ米價ニ依テ調べ上ガタ貨貸價格ニ依  
テ、今日ノ如キ不況時代ニ其貨貸價格ニ依  
リ地租三・八ト云フモノヲ徵收スルト云フ  
コトハ、恰モ其當時ニ比較シテ見レバ、倍  
額ノ稅金ニナルデハアリマセヌカ、若シ果  
シテ貨貸價格ニ依テ徵收サレルナラバ、現  
在ノ貨貸價格ヲ調べテ、サウンテ之ニ課稅  
サレルノガ適正デアリマス、昭和元年、大  
正十五年當時ノ貨貸價格ニ依テ三・八ノ稅  
金ヲ徵收サレルナラバ、眞ニ地主ハ其負擔  
ニ堪ヘナイモノト私ハ考ヘテ居リマス、斯  
ウ云フ方面カラ然ラザル所以ヲツツ御説教  
ヲ願ヒタク然ラザル所以ヲ……、政府ハ減  
稅ト云フ名ヲ付ケラレルガ、縱カラ推シテ  
モ横カラ推シテモ是ハ減稅ニナラヌ、國民  
ノ負擔増加ニナル感ジガスルノデアリマ  
ス、又澤山ノ答辯ノ中ニ私ノ最モ要領ヲ得  
ナカツタ點ダケヲ申上ゲタイト思フ、大藏大  
臣ハ依然トシテ一千五百五十万圓減稅ニナ  
ルト言ハレルガ、其位ノ金ヲ減ジヤウト思  
ヘバ、現在ノ稅率改正ヲ法律ニ依テ行ハ  
ズトモ、彼ノ苛斂誅求セラレテ居ルアノ手  
加減デ減稅ガ出來ヤシナイカ、此間ノ豫算  
分科會デモ大藏大臣ニ申上ゲタヤウニ、所  
得稅ノ稅率ヲ引下ヌマデモ營業者ノ所得  
額算出ノ率ヲ、所謂青物百圓ニ付テ五分ノ  
利益デアルトカ、八百屋ハ百圓ニ付テ七圓  
ナダケデ、此程度ノ減稅ハ出來ルデハア  
リマセヌカ、僅カ營業収益稅ノ減稅ガ平年  
度ニ於テ四百六十万圓、本年度ハ百二十万

云フノデアリマセウカ、モウ少シ景氣が恢復シタラト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、勿論官吏ハ澤山ニ御使ヒナツテ居ル、曩ニ現内閣ハ減俸案ヲ一度發表スルト、各方面デ反対ガアッタ、反対ガアッタ云フテ國民カラ反対シタモノハ一人モナイ、唯月給ヲ貰<sup>フ</sup>テ居ル官吏カラ反対ガアッタ、百圓以上ノ⋮ソレハ自分ノ收入ガ減ルノデアルカラ黙<sup>フ</sup>テ居ル譯<sup>ズ</sup>ハアリマセヌ、併シ其黙<sup>フ</sup>テ居ラヌ人モ胸ニ手ヲ當テテ考へテ見タナラバ、私ハ贊成スルダラウト思フ、自分等ガ給料ヲ上げテ貰<sup>フ</sup>タ基準ノ米價ハ、五十圓内外デ<sup>ア</sup>ッタノガ、今日ハ十八圓内外ノ米價ニナツタノデアルカラシテ、我ミノ給料ヲ負擔シテ吳レル農民、國民ノ收入ガ大變減<sup>フ</sup>タ時デアルカラ、我ミノ給料ノ減ルコトハ已ムヲ得ヌト、少シ心アル人ハ私ハ贊成スルト思フノデアリマス、ソレニ贊成シナイヤウナ官吏ガ若シア<sup>ト</sup>スルナラバ、國家ニ忠ナル官吏デハアリマセヌ、又左様ナ官吏ガ彼此レ言フタ爲ニ、直ニソレヲ撤回スルヤウナ腰ノナイ内閣デハイケマセヌ、行カナカ<sup>タ</sup>ラ國民多數ノ後援ヲ得テ、其官吏共ト一戰交ヘテモ構ハヌデハアリマセヌカ、ナカ<sup>タ</sup>選舉ノ方面ニ向<sup>ク</sup>テ蠻勇ヲ振フ内閣デアルガ、國民ノ負擔ヲ輕クスルコトニ向<sup>ク</sup>テハ更ニ勇氣ヲ御振ヒニナラヌノハ、如何ナル譯<sup>ズ</sup>アルカ、又此調査會ニ對シテ大藏大臣ハ、是ハ切詰メデア<sup>ト</sup>テ毫モ削爾地ノナイモノデアル、斯ウ仰シヤ<sup>タ</sup>、今年モ何ミガ出テ居ルカト云フト、阿片委員會ガ二万圓、河川委員會ガ八千八百四十五圓、國立公園調査會ガ一万三千四百二十六圓、失業防止委員會ガ四万八百六十二圓、人口調査會ガ一万五千圓、行政及財政整理調査會ガ五万圓、是ハ何レモ官吏ガ重複ニ給料ヲ貰<sup>フ</sup>賞與案デア<sup>ト</sup>、真ニ國民ガ負擔ヲシテ、斯様ナコトヲスル必要ハナイ、年俸何ガシ、月俸何ガシヲ與<sup>フ</sup>テ居ル以上、

二重ノ給料ハヤラヌデモ宜シイ、國民ノ負擔ヲ増シテマデ斯様ナコトヲヤヌデモ、アノ程度ノ給料ヲ拂テ居レバ、満足シテ此調査會ニ從事シナケレバナラヌノデアリマス、而モ此調査會ノ中ニハ全ク……時間ヲ要スルカラ讀上ゲマセヌガ、百ナンボノ調査會ノ中ニハ、恐ラク議員各位方御覽ニナテモ、モウスウ云フ調査會ハ止シテモ宜イト云フノガ大變澤山アリマス、今年御開キニナツタ人口調査會ナンド昨年既ニ御承知ノ國勢調査ヲヤテ人口ガ調べラレテ居ル、又今年人口調査ヲヤテ毎年々殖エルノヲ喜ブ、ドウセ是ハ調査シテモ造ルモノハ五千圓モ掛ケテ、サウシテ國民ニ負擔サスヨリハマダ一万五千圓少ク取タ方ガ國民ハ喜ブ、ドウセ是ハ調査シテモ造ルモノハ造ルノデアル、已ムヲ得スト私ハ思フ、其他ノ答辯ニ對シテ、私ハ大藏大臣ノ答辯ニ満足セザル點ノ方ガ多イノデアリマス、併シソレヲ満足スルマデノ議論ヲ本會議デヤルベキモノトハ私ハ心得テ居リマセ、從テ他日他ノ機會ニ於テ得心ノ行クヤウニ聽キタイト思ヒマスルガ故ニ、私ハ今申上げタ分ダケハ簡單ニ御答ガ願ヒタイト思ヒマス

ニシナケレバナラヌト云フコトヲ天下ニ聲明イタシタノデアリマス、從テ今回ノ減稅ハ此政府ノ國民内外ニ對スル公約ヲ實行スル精神カラ出來タモノデアリマス、森田君ハ何カ倫敦會議ガ成功ニ終ルモノナラバ五億八百万圓ノ財源ハ悉ク浮イテ來ルモノデアル、減稅ノ財源ニ振向ケルコトガ出來ナケレバナラヌモノデアルト云フ風ニ仰セラレマシタガ、此御趣旨ハ私ハ能ク了解シナインオニアリマスガ、倫敦會議ト云フモノガ成功ニ終レバ軍艦ハ一隻モ拵ヘナクテモ宜シイ、斯ウ云フコトヲ前提ニ考ヘテ居ラレルヤウニ私ハ考ヘマス、申スマデモナク五億八百万圓ト云フモノハ先刻モ大藏大臣カラ御答ニマナリシタガ、昭和六年度ヨリ昭和十二年度マデニ至ル艦艇製造費ノ財源トシテ留保イタシテアタモノデアリマス、然ルニ今回倫敦條約ガ成立イタシマシタル結果、立テマシタル海軍兵力ノ整備計畫ニ依リマスルト云フト、昭和六年度以降昭和十一年度マデノ艦艇製造費ハ二億四千七百万圓デ足りルコトニナックノデアリマス、差引ニ二億六千百圓ト云フモノガ正味ノ餘剩財源デアルノデアリマス、此餘剩財源ノ内カラ一億二千七百万圓ト云フモノヲ航空兵力ノ増勢即チ充實、ソレカラ内容ノ充實ノ目的ニ充テマシテ、ソレカラ一億三千四百万圓ト云フモノヲ減稅ニ充テルト云フコトニナクタノデアリマス、即チ餘剩財源ノ過半ヲ減稅ニ振向ケムトスル計畫ナノデアリマシテ、目下財政ノ調理ガ極メテ困難ナル際デアルニ拘ラズ、以上申述ベマシタル特定ノ目的以外ニハ一切此餘剩財源ニ手ヲ著ケズシテ、減稅ノ公約ヲ實行セムコトニ政府ハ努メタ結果、此減稅案ナルモノガ生レ出デタノデアリマス、斯ノ如キ經過トスノ如キ精神ヲ以テ、減稅案ガ出來タモノデアリマシテ、選舉ノ爲ニ之ヲ利用スルノ目的デ出来タモノデアルト云フヤウナコトヲ仰セラ

レマシタケレドモ、是へ全ク何等ノ根據ノ無イコト御了解ヲ願ヒタイノデアリマス  
○國務大臣(井上準之助君) 米價ガ非常ニ下ガッタ、隨テ貨賃價格ノ調査ハ米價ノ下ガル前ニ出來タモノデアルカラ、今般ノ地租法ノ課稅標準ニナシテ居ル貨賃價格ハ公正デナイ、斯ウ仰シヤラレマスガ、調べマス當時ハ決シテ其當時ノ米價バカリヲ本ニシテ調ベタノデナインデアリマシテ、大正十五年四月一日現在ノ地租ヲ本ニシテ、調べマス時ハ其前ノ五箇年間ノ平均ヲ取テ調査シタノデアリマス、其點カラ言ヒマシタラバ、今日ノ米價ハ比較シテ安カラウト思ヒマス、併ナガラ今日ノ經濟界ハ米價單リ下ガッテ居ル譯ヂヤゴザイマセヌ、市街宅地ニ於キマシテモ相當ノ物價下落……總テノ狀態ガ變ツテ居ルノデアリマスカラ、三井氏ノ質問ニ對シテ同一ノ答辯ヲ致シマシタヤウニ、全體ノ經濟界ガ下ガッテ居ルカラシテ、其間ニ不公正ナ點ハアリマスマイ、斯ウ申シテ置イタノデアリマス、政府ハ減稅ヲスル代リニ法律ヲ改正セズニ只今ノ手加減ヲ少シ緩ニシタナラバ數百万圓ハ直グニ稅ガ取レナクナル、ソレノ方ガ寧ロ公平ヂヤナカト言ハレルノデアリマスガ、私ハ稅務ニ從事スル多數ノ者ノ爲ニ、森田氏ニ一ツ申上ゲテ置キタコトガアリマス、稅務官吏必ズシモ涙ノナイ者バカリヂヤアリマセヌ、今日ノ經濟界ノ狀態ニ直面シテ收稅ノ事務ニ當ッテ居リマスモノハ非常ナ苦心ノ極デアリマス、最近稅務監督局等ヲ廻シテ見マシテ、多數ノ稅務官吏ニ會シテ話ヲ聽キマシテモ、非常ナ苦心凌澹ラシテ居ルノデアリマシテ、斯様ナ經濟界ノ急激ナ變動ノアタ時ニ、唯苦歎誅求ト云フ御言葉デ之ヲ批評シ去ラレルコトハ、甚ダ我ニハ酷ニ受取レマス、政府ハ法律ノ忠實ナル實行者デナケレバナラヌノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ當然ノ儀デアリマスガ、決シ

テ斯様ナ經濟界ノコトガ頭ニ入ッテ居ナイ  
人間バカリデ非常ナ法律以外ニ無理ニ苛歛  
誅求ト云フヤウナコトヲサレテ居ルト斷定  
サレテノ只今ノ御批評ハ、私辯解申上ゲテ  
置キタイノデアリマス、尙ホ「メートル」法ノ  
コトニ御議論ガ及ビマシタガ、「メートル」  
法ハ國際的ノ統一ト云フ精神カラ出來テ居  
リマスノデ、日本總テノモノヲ法律ニ依ッテ  
出来ルダケ此精神ニ當嵌メテ行クト云フコ  
トバ、私ハ法律ニ要求サレテ居ル事柄ト考  
ヘルノデアリマス、斯様ナ日本ノ根本ニナ  
ル土地ノ借料ノ如キモノヲ「メートル」法以  
外カラ根本カラ法律ニ除キマシタナラバ、  
「メートル」法ト云フモノハ中々容易ニ行ハ  
レルモノデヤナイ、「メートル」法ノ非常ナ  
美點、利益ナル點モアルノデアリマスカラ  
我ミハ地租法ニ於テ之ヲ永久ニ除外例ヲ置  
カウトハ考ヘマセソノデアリマス、官吏減  
俸軍人ノ減俸ノ問題ガアリマシタガ、政府  
當局者ト致シマシテハ頗ル微妙ナ問題デモ  
アリマス、又先日カラ度ニ私ハ只今ノトコ  
ロ官吏ヤ軍人ノ減俸ラシヤウト云フ考ハア  
リマセヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデ  
アリマスカラ此議論ハ御説ノ所ハ能ク我ミ  
モ諒解シテ誤解ハナイノデアリマスカラ、  
私ハ此程度ニ御止メヲ願ウテ置キタイトト考  
ヘマス

御取扱ニナツテ居ルノデアルナラバ凡ソ三十  
七八圓ノ平均價格ガ出ル皆デアリマス、一  
層高價ニナツテ來ル、現在ノ價格ニ比較スレ  
ベ二割五分モ多タナルノデアリマスカラ是  
デ公平ト云フコトハ期シ得ラレヌノデアリ  
マス、勿論大藏大臣ノ御話ニナツタヤウニ市  
街地ノ宅地價モ御說ノ通りデアリマス、併  
シ市街地ノ宅地價モ御說ノ通りデアッテモ  
ナレハ大體ニ於テ貨地ノ料ニ變動ハアリマ  
セス、賣賣地價ニハ變動ハアリマスガ貸  
付ノ地料ニハ左様ナ變動ヲ來シテ居ラヌ、併  
シ官署ガ御持チニナツテ居ル地ハ上ゲ  
テ居アレルノデアリマス、ト云フヤウナ狀  
態デアサマスカラ農村ト同一ニ御比較ニナ  
ルコトハ御免蒙リタイト思ヒマス、意見ハ  
澤山アリマスガ、皆様ニ御迷惑ヲ掛ケマス  
カネ、本員ノ本會議ニ於ケル本案ニ對スル  
質問ハ此程度ニシテ置イテ、後日濱口總理  
大臣が御出マシニナリマス際ニ本案ニ對シ  
マシテハ徹底的ニ御伺ヒヲ致スコトニ致シ  
マシテ、本日ハ是テ終シテ置キマス。

○議長(公爵德川家達君) 高橋琢也君ノ登  
壇ヲ望ミマス

(高橋琢也君演壇ニ登ル)

○高橋琢也君 祉ハ只今議題ニナツテ居リ  
ヨスル各減稅案ニ付キマシテ政府ハ御伺ヒ  
致シタクイト思ヒマスル、各法案ヲザット見マ  
スルト申セ少カラヌ御改正ガヨザイマス  
者、殊ニ此地租法案ニ付キマシテハ地租條  
例ヲ初メ九ツメ最モ重要ナル法律ガ悉ク此  
地租法ガ通過スルト慶セラレル、斯ウ云フ  
結果ニナルノデス、之ヲ法律ノ上デハ唯之  
ヲ慶スルト云ヘバ餘リ御面倒ナコトハナイ  
ヤウニ見エマルガ、其實之ヲ實行シマス  
ル上ニハ非常ナ困難ガアラウト存ジマス  
ル、第一、明治七年ノ地所名稱區別ト云フヤ  
サセモノ是デ慶スル、是ハ地租條例ニ次  
テ重要な法律トナツテ居ルノデアリマス、御  
承知ノ通リデアル、併シ官有地一種二種三  
種トノ編入替等モ盡タ之ニ依シテヤツテ居

ル、ソレデアルカラ今日之ヲ廢シテ終ヘバ、  
今後ハ國有地全有地ト云フヤウナモノニ付  
キマシテモドウ云フ御取扱ヒニナリマスル  
カ、是等モ翁ヒタイノデアル、既ニ曩ニ林  
野法ガ通過シタ場合、此法案ガ通過スレバ  
地所名稱區別ノ布告ハ廢スルノデアル、斯  
ウ云フヤウナ確カ政府ノ答辯デアッタト存  
ジマスル、次デハ官有財產法ガ出マシタ場  
合ニ矢張リ同様ナ御話ガアッタ、ソレデ私ハ  
疾ニは廢サレテ居ルモノト見テ居リマシ  
タ、明治七年ト云ヘバ殆六十年程前ノ法  
案デアル、五十八年ニナリマスカ……ソレ  
デアルカラ無論是ハ廢サレテ居タモノト  
思ツテ居タ所ガ今回ノ地租法案デアッタス  
ル、サウンシテ他ノ七法律モ亦廢サレル、斯  
ウ云フコト、此法律ノ移リ變りリダケノ仕事  
ダケデモ是ハ容易ナコトデナイト私ハ信ズ  
ル、然ルニ此法案ハ昭和六年四月一日カラ  
實行スル、施行スルト云フコトデアル、是  
ガ本院ヲ通過シテ法律ニナツテ出マスルト  
云フノハ、恐らく本月ノ末アタリデヤナイ  
カト思フ、サウスルト此法案ガ出ルト直グ  
ニ是ハ施行セラレル、其施行セラルル法律  
ハ一筆毎ニ調査モシナケレバナラヌ、地目、  
賃貸價格、地積、コンナモノヲ皆調べナケ  
レバナラヌ、固ヨリ悉ク調べル譯デハゴザ  
イマスママイ、斯ウ云フ法律デアルカラ實行  
スルト云フニ至ラテモ此收入ノ結果ヲ昭和  
六年度デ見ヤウト云フコトハチヨト私等  
ニハ想像ガ出來得ナイト言ウテ宜シイ位ノ  
ソレ故ニ私ハ先づ此各法案中、殊ニ重イ地  
租ニ付テ色々御尋ガ致シタイガ、其御尋ヲ  
致ス前ニ此減稅案ナルモノガ何故ニ此處ヘ  
生レテ來タンデアルカ、斯ウ云フ問題ヲ調  
べルノガ先決問題タラウト思ヒマスル、之  
ニ對シテハ去ヌル四日ニ大藏大臣ガ此席デ  
大變ニ詳シク此必要ヲ御述ベニナツタ、其中  
デ「倫敦海軍條約ノ成立ニ依リマシテ生ジ  
タル餘剩財源ハ同條約ノ趣旨ニ從ヒ之ヲ國  
民負擔ノ輕減ニ充當スルヲ適當ナリト認メ  
マシテ、今回地租、是ミノ法案ヲ出シタノ  
デアル、斯ウ仰シヤル、而モ御丁寧ニ第二  
段ニ於テハ「倫敦海軍條約ノ成立ノ結果生ジ  
タル財源ノ一部ヲ以テ其負擔ヲ輕減スルコ  
トニ致シタ、斯ウ仰シヤル、サウンシテ只  
今森田福市君ノ質問ニ對シテ御答辯ニナ  
ク所ヲ拜聽イタシテ居リマシタガ、大藏大  
臣モ確カ幣原首相代理モ其意味デ仰シヤッ

ナルモノ、地方ノ經濟ト云フモノヲ幾ラデ  
モ之ヲ助ケ得ラレルト云フ性質ノモノデ  
アッタ、矢張リ何レノ政府デヤタモノデ  
ウト思フ、現ニ今回大變喧マシカッタ教護  
法、是モ前政府デ出シテ法律ニナツタ、御承  
知ノ如ク中央カラ四百万圓、地方カラ四百  
万圓、八百万圓ヲ以テ此法律ヲ實行シ國民  
ノ所謂無告ノ國民ヲ救濟スル、斯ウ云フ意  
味デアルノデスカラ細カイコトハ申上ゲル  
モ續イテ實行セラル、斯ウ云フ考ガアラ  
ジマスル、次デハ官有財產法ガ出マシタ場  
合ニ矢張リ同様ナ御話ガアッタ、ソレデ私ハ  
疾ニは廢サレテ居ルモノト見テ居リマシ  
タ、明治七年ト云ヘバ殆六十年程前ノ法  
案デアル、五十八年ニナリマスカ……ソレ  
デアルカラ無論是ハ廢サレテ居タモノト  
思ツテ居タ所ガ今回ノ地租法案デアッタス  
ル、サウンシテ他ノ七法律モ亦廢サレル、斯  
ウ云フコト、此法律ノ移リ變りリダケノ仕事  
ダケデモ是ハ容易ナコトデナイト私ハ信ズ  
ル、然ルニ此法案ハ昭和六年四月一日カラ  
實行スル、施行スルト云フコトデアル、是  
ガ本院ヲ通過シテ法律ニナツテ出マスルト  
云フノハ、恐らく本月ノ末アタリデヤナイ  
カト思フ、サウスルト此法案ガ出ルト直グ  
ニ是ハ施行セラレル、其施行セラルル法律  
ハ一筆毎ニ調査モシナケレバナラヌ、地目、  
賃貸價格、地積、コンナモノヲ皆調べナケ  
レバナラヌ、固ヨリ悉ク調べル譯デハゴザ  
イマスママイ、斯ウ云フ法律デアルカラ實行  
スルト云フニ至ラテモ此收入ノ結果ヲ昭和  
六年度デ見ヤウト云フコトハチヨト私等  
ニハ想像ガ出來得ナイト言ウテ宜シイ位ノ  
ソレ故ニ私ハ先づ此各法案中、殊ニ重イ地  
租ニ付テ色々御尋ガ致シタイガ、其御尋ヲ  
致ス前ニ此減稅案ナルモノガ何故ニ此處ヘ  
生レテ來タンデアルカ、斯ウ云フ問題ヲ調  
べルノガ先決問題タラウト思ヒマスル、之  
ニ對シテハ去ヌル四日ニ大藏大臣ガ此席デ  
大變ニ詳シク此必要ヲ御述ベニナツタ、其中  
デ「倫敦海軍條約ノ成立ニ依リマシテ生ジ  
タル餘剩財源ハ同條約ノ趣旨ニ從ヒ之ヲ國  
民負擔ノ輕減ニ充當スルヲ適當ナリト認メ  
マシテ、今回地租、是ミノ法案ヲ出シタノ  
デアル、斯ウ仰シヤル、而モ御丁寧ニ第二  
段ニ於テハ「倫敦海軍條約ノ成立ノ結果生ジ  
タル財源ノ一部ヲ以テ其負擔ヲ輕減スルコ  
トニ致シタ、斯ウ仰シヤル、サウンシテ只  
今森田福市君ノ質問ニ對シテ御答辯ニナ  
ク所ヲ拜聽イタシテ居リマシタガ、大藏大  
臣モ確カ幣原首相代理モ其意味デ仰シヤッ

ナルモノ、地方ノ經濟ト云フモノヲ幾ラデ  
モ之ヲ助ケ得ラレルト云フ性質ノモノデ  
アッタ、矢張リ何レノ政府デヤタモノデ  
ウト思フ、現ニ今回大變喧マシカッタ教護  
法、是モ前政府デ出シテ法律ニナツタ、御承  
知ノ如ク中央カラ四百万圓、地方カラ四百  
万圓、八百万圓ヲ以テ此法律ヲ實行シ國民  
ノ所謂無告ノ國民ヲ救濟スル、斯ウ云フ意  
味デアルノデスカラ細カイコトハ申上ゲル  
モ續イテ實行セラル、斯ウ云フ考ガアラ  
ジマスル、次デハ官有財產法ガ出マシタ場  
合ニ矢張リ同様ナ御話ガアッタ、ソレデ私ハ  
疾ニは廢サレテ居ルモノト見テ居リマシ  
タ、明治七年ト云ヘバ殆六十年程前ノ法  
案デアル、五十八年ニナリマスカ……ソレ  
デアルカラ無論是ハ廢サレテ居タモノト  
思ツテ居タ所ガ今回ノ地租法案デアッタス  
ル、サウンシテ他ノ七法律モ亦廢サレル、斯  
ウ云フコト、此法律ノ移リ變りリダケノ仕事  
ダケデモ是ハ容易ナコトデナイト私ハ信ズ  
ル、然ルニ此法案ハ昭和六年四月一日カラ  
實行スル、施行スルト云フコトデアル、是  
ガ本院ヲ通過シテ法律ニナツテ出マスルト  
云フノハ、恐らく本月ノ末アタリデヤナイ  
カト思フ、サウスルト此法案ガ出ルト直グ  
ニ是ハ施行セラレル、其施行セラルル法律  
ハ一筆毎ニ調査モシナケレバナラヌ、地目、  
賃貸價格、地積、コンナモノヲ皆調べナケ  
レバナラヌ、固ヨリ悉ク調べル譯デハゴザ  
イマスママイ、斯ウ云フ法律デアルカラ實行  
スルト云フニ至ラテモ此收入ノ結果ヲ昭和  
六年度デ見ヤウト云フコトハチヨト私等  
ニハ想像ガ出來得ナイト言ウテ宜シイ位ノ  
ソレ故ニ私ハ先づ此各法案中、殊ニ重イ地  
租ニ付テ色々御尋ガ致シタイガ、其御尋ヲ  
致ス前ニ此減稅案ナルモノガ何故ニ此處ヘ  
生レテ來タンデアルカ、斯ウ云フ問題ヲ調  
べルノガ先決問題タラウト思ヒマスル、之  
ニ對シテハ去ヌル四日ニ大藏大臣ガ此席デ  
大變ニ詳シク此必要ヲ御述ベニナツタ、其中  
デ「倫敦海軍條約ノ成立ニ依リマシテ生ジ  
タル餘剩財源ハ同條約ノ趣旨ニ從ヒ之ヲ國  
民負擔ノ輕減ニ充當スルヲ適當ナリト認メ  
マシテ、今回地租、是ミノ法案ヲ出シタノ  
デアル、斯ウ仰シヤル、而モ御丁寧ニ第二  
段ニ於テハ「倫敦海軍條約ノ成立ノ結果生ジ  
タル財源ノ一部ヲ以テ其負擔ヲ輕減スルコ  
トニ致シタ、斯ウ仰シヤル、サウンシテ只  
今森田福市君ノ質問ニ對シテ御答辯ニナ  
ク所ヲ拜聽イタシテ居リマシタガ、大藏大  
臣モ確カ幣原首相代理モ其意味デ仰シヤッ

トガ出来ルカ、斯ウ云フ結果エナル、ソレ  
デハ蛇モ取ラズ蜂モ取ラズト云フ結果エナ  
ル、ソレハ甚ダ遺憾ナ譯アルノデ、私ハ  
昨年政府當局ニ此海軍條約ニ付テ質問ヲ致  
シタ、其時ニ現ニ五大國難ヲ擧ゲテ私ハ政  
府ニ質問ヲシタ、ソレハ思想國難、經濟國  
難、失業國難、國防國難ト疑獄國難ノ此五  
ツアル、然ルニ當時内務大臣モ失業國難  
ノ御答辯ガアツタ、又海軍當局モ國難ト云フ  
ユ付テハ其國難ト云フコトハ止メテ貴ヒタ  
イ、ソレハ返上スル、斯ウ云フヤウナ意味  
ノ御答辯ガアツタ、又海軍當局モ國難ト云フ  
コトハドウカ避ケテ貴ヒタイ、斯ウ云フ御  
話デアル、ブレハ政府トシテハソレニ違ヒ  
ナイノデス、之ヲ言ハレルト云フコトハ政  
府トシテ隨分苦シイ立場ニ居ルコトニナル  
デアラウト思ヒマス、併シ是ハ果シテ國難  
ナルト今日ハ言ハナケレバナラナイ、何  
故ナレバ海軍ノ軍備ガ充實シテ居テ國防  
ニハ缺陷ガナイト斯ウ云フナラバ、何故軍  
令部長ヤ軍令部次長ハ辭職シテ其地位ヲ  
去ツカ、財部海軍大臣、海軍次官是亦共ニ  
其職ヲ去ツタノデアル、是へ何デ去タク、申  
ス迄モナク自分ハ此職ニ留マルコトハ出来  
ナイ、此様ナ國防ニ缺陷ノアル政府ノ措  
置ニ共鳴スルコトハ出來ナイ、之ニ共  
鳴シタ時ニ兵力が足リナカッタラバ一朝  
事アル時ハドウスルカ、其時ノ責任ハ自  
分達ノ頭ヘ來ルノデアル、斯ウ云フ考デ  
離職セラレタト云フコトハ分り切テ居  
ル、是ハ御承知ノ如ク當時ノ軍令部次長マ  
デモ既ニ昭和會館ナドヘマデモ來テ十分ニ  
其缺陷ハ説明セラレタカラ我ミモ成ルホド  
是デハト思タノデゴザイマス、遂ニ其職ヲ  
任ノミデハナイ、日本ノ國家ナルモノラド  
ウスレバ宜イ、前途誠ニ憂慮ニ堪ヘナイノ  
デアル、ソレ故ニ此職ヲ去ル、斯ウ云フコ  
トデ去ラレタノデアラウト思ヒマス、或ハ

病氣ト云フコトニ辟職セラレタカモ知ラ  
ガ、事實ハ是ハ證明シテ居ルダラウト思  
フ、果シテサウデアルトスレバ、是ハ誠ニ  
其進退トシテハ潔イ進退デアル、又日本ノ武  
士トシテハ古來サウ云フヤリ方ラシチ居  
ル、日本ノ今日ノ國防ト云フモノハ果シテ  
十分デゴザイマセウカ、曩ニ大藏大臣ノ答  
ヘラレル所ニ依ルト、條約ノ結果ニ依テ減  
稅案ヲ出シタノデアル、是ハヤラナケレバ  
ナラナイノデアル、各國トモソレデヤルノ  
デアル、是ハ全ク條約ノ時ニ少クトモ三大  
海軍國ガ互ニ其趣旨ニ海軍ノ軍縮ヲヤラレ  
タノデアラウト思ヒマス、果シテサウデア  
ルトスレバ、當時モ諸新聞デモ十分ニ論難  
セラレタヤウニ、歐米ノ二大海軍國ハ、倫敦  
條約、倫敦會議ト云フ一大演劇ハ之ヲ歎迎  
シタノデアル、是ガ出來タエ依シテ雀躍シタ  
ノデアル、其反面ニハ東洋ノ一大海軍國ガ  
悲憤慷慨シテ涙ヲ飲ンデ此條約ニ調印シナ  
トガ既ニ玄人ノ所ニ調査ラシテ、ソレヲ證  
ケレバナラヌニ至タノデアラウト私ハ思  
フ果シテサウデアルトスレバ、是ハ考ヘナ  
クテハナラヌ、國防ニ缺陷ガアルト云フコ  
トガ既ニ玄人ノ所ニ調査ラシテ、ソレヲ證  
據立チラレテ、現ニ是ダケ、即チ是カラ昭  
和十一年マデハ、此條約ヲ動カスクトハ出  
來ナイ、其間ニハ米國ハ是ミノ增艦ガ出来  
ルガ、日本ハ巡洋艦ニ於テ是ダケヲ取シテ居  
ル、潛航艇ニ於テハ、既ニ一隻モ作ルコト  
ハ出來ナイ、斯ウ云フヤウニ、當時私等ハ  
海軍ノ當局ノ人カラ、説明ヲセラレタノア  
聽イタノデアル、其間ニ多少ノヨシ差ガアッ  
タニシテモ、之ニ依ツ得タ餘剩金ガ皆減稅  
ニ向ケラレタナラ、バマダシモ、ソレ程ニ喧  
マシク約束ヲシタ其減稅方、誠ニ名ノミノ  
減稅、本年度ハ九百万圓、來年度ヨリ一千  
五百万圓ゾ、四ヶ年トシタ所ニ、僅ニ一  
億万圓、四ヶ年ノ間其金ヲ積上ダテ置イタ  
所ガ、一億万圓餘リシカナリマセヌ、而モ  
ソレハ實際ノ話デハナイ、他ノ方面カラ調  
ベテ居ルノヲ聞クト、二千五百万圓ト云フ

モノニハ平均當ナイト斯ウ音フ、ヨシ當ルトシタ所デ、今私ガ申上ゲタ……況ヤ此  
新シク稅法ヲ出シテ、而モ此不景氣ナ、困難ナ時代ニ、或ハ此位ノ金ハ出ルデアラウ  
ト云フ、空賴ミノ是ハ豫算デアルト私ハ思フ、而モ之ガ爲ニ政府ノ取扱ヲ新シクスル、  
徵稅上ノ手續一切ノ費用ヲ計算シタラ、其純收入ハ大ニ減退スルノデアルト、是ハマ  
ア事實サウデナクチヤナラヌ、サウスルト  
唯書面ノ上デ、全ク是ハ減稅ヲシタノデゴ  
ザルヨト云フコトヲ示スニ過ギナイ、實際  
國民ハ少シモ魚擔ヲ輕減セラレテ居ラナ  
イ、其輕減ヲセラレテ居ラヌリミナラズ、  
昭和十一年ニ至レバ、既ニ今ノ倫敦條約ト  
云フモノハ、是ハ解約シナクチヤナラヌ、  
更ニ今度ドウ云フ條約ガ出來ルカ、是へ未  
定ノ問題デアル、サウスルト、其間ニ集マ  
タ金ガヨシ一億圓内外積ンデアタ所ガ、若  
シ一朝戰爭スルコトニナツラドウナリマ  
セウ、日清日露ノ戰役デ、日本ハ好イ經驗  
ガアル、況ヤ近イ世界大戰、四年餘ノ此戰  
争デス、之ニ要タ所ノ金ト人ノ死傷之ヲ  
擧ゲテ御覽ナサイ、實ニ何トモ云ヘナイ、  
千古未有ナコトデ、古來未ダ曾テ有タコ  
トノナイ大損害デアル、其時ニ一億圓ノ金  
ハ、二箇月カ三箇月ノ戰費ニシカ充テルコ  
トガ出來得マセヌ、ソレデドウシテ戰ニ勝  
利ガ出来マスカ、歐洲ノ格言ニ「戰爭ハ黃金  
ノ網ヲ張ルモノニアルガ、其網ニ依テ獲得  
スルモノハ殆ド網代モ價フニ足ラナイ」ト云  
フコトガアル、黃金ノ網ヲ張レバマダ宜イ、  
張レナイ、是チヤ黃金ドコロチヤナイ、鐵  
カ銅ノ破レ網ヲ張タ所ガ、何モ取レハシナ  
イ、ノミナラズ、コチラデハ大變ナ失敗ヲ  
シナクチヤナラヌ、詰リ敗戰ノ結果ト云フ  
モノハ獨逸ヤ境國ノ今日ノ有様ニ……戰後  
ノ有様ヲ御覽ナサイ、「ベルサイユ」ノ平和  
條約ノ時ノ有様ヲ御覽ナサイ、日本ニハ未  
ダ曾テ斯ウ云フコトニ遭遇シタコトガナイ  
ノデアル、ソレ故ニ何時デモ、戰爭乎ヘス

レバ、勝ツモノト爲シ居ル、如何ニ大相  
民族ガ力ガアッテ、智慧ガアッテモ、時勢ト云  
フモノモ考ヘナケレバナラヌ、又私ハ鬼角  
政府方面ニ居ル人ヤ、殊ニ外交ノ局ニ當テ  
居ル方にヘ、今日ハ不戦條約ガアルシング  
戦ヘ出來ハシナイ、既ニ平和條約モ、今ニ  
各國聯合シタ平和條約マデ出来ルノデア  
ル、サウスレバ戦ハ無イヂヤナイカ、何ノ  
必要ガアッテ、ソンナコトヲ心配スルカ、若  
シ是ガ本當ニ實行シ得ラルナラバ、倫敦  
條約デ得タ餘潤金ハ残ラズ減税ニ用ギチモ  
差支ナイ、又軍艦ヲズット賣飛ハシテ、減税  
ニシテモ差支ナイヂヤナナイカ、ソレガ怖オ  
カラ玄人ハ早ク自分ノ椅子ヲ捨テ逃ダタ  
ノアルト、私ハ信ズル、現ニ米國ハ是種  
ノ軍備縮小ヲシテ喜ンデ居ル、英國亦然リ  
所謂倫敦會議ノ一大演劇ハ彼等ニ取シテハ  
喜劇デアリ、我國ニ取シテハ悲劇デアル、ソ  
レデアルカラ、若モ此儘デ行シテ、一朝事ガ  
アッタ、誰ガ其責任ヲ負ヒマスカ、是程ノ  
事方實ヘ一般ノ人ニデモ……殊ニ政府ノ當  
局ニ分ラヌコトハナイカラ、ソレハ十分ニ  
御覺悟ガアルノデアラウト思フ、ト云フモ  
ノヘ、倫敦條約ノ當時、其指揮命令ヲシタ  
演口總理大臣ハ、當時海軍大臣ノ職務ヲ嘗  
掌シテ居ラレタ、然ルニ海軍ノ軍令部長、  
次長、海軍大臣、次官ト、此四大官ガ、責  
任ヲ重ンジテ其地位ヲ去タノデアル、其實  
此條約ヲ指揮命令シタ所ノ演口首相ハドウ  
云フコトヲナサタカ、私ハマダ翁ハナイ、國  
民モ亦知ラナイヂアラウト思フ、之ニ對シ  
チハ幣原代理首相ハ定メシ十分ニ御答辯ヲ  
下サルコトデアラウト思ヒマヌカラ、私ハ  
腹藏ノナイ所ヲ擧ゲテ實ハ御尋ヲ致スノデ  
アル、既ニ米國ハ過日モ代艦建造ヲ計畫シ  
テ議會ヲ通過シタ、今回ハ又「カリフオルニ  
ヤ」ニ飛行機ノ大飛行場ヲ設ケタト云フ、是  
ハ米國ガ自分ノ國ニ大飛行場ヲ設ケルカラ  
何デモナイコトデアルト若シ言フナラ言ハ  
レルデセウ、併シ何故ニ設ケタカト云フ位

ナコトハ少シ現代ノ事情ヲ知テ居ル者ハ  
眉毛ニ唾ヲ付ケルニ決マッテ居ル、伊太利ガ  
過日一團ノ航空船ヲ米國ニ送タ、是ハ何人  
爲デアルカ、今回ノ佛伊ガ軍備協約ヲナシ  
タト云ウテモ、伊太利ハ軍艦ヲ拵ヘテ佛蘭  
西ニ對抗シヤウト云フノデハナイト私ハ思  
フ、何故ナレバ佛蘭西ハ、「マルセイユ」ハ  
地中海ニ在テ伊太利ニ接近シテ居ルケレ  
ドモ、餘リ近クテ「スペチア」灣ノヤウナ軍  
港ヲ南港ニシテ、所謂軍港兼商港ニシテ居  
ル位デアル、商船デモ平素ハグンヽ軍港  
ニ入シテ來テ居ルノデス、ソレハ伊太利ハド  
コデ戰爭スル、若シ戰爭スルナラバ「バル  
カン」カ佛蘭西ト見テ居ルノデハナカラウ  
カト思ヘル、ソレハ書面ノ上ノ協定デアル、現  
定シタ、ソレハ書面ノ上ノ協定デアル、現  
ニ私ガ伊太利ヘ行ク場合ニ色ニ取調べテ  
見マスルト、空軍ヲ以テ今後ハ兵力ヲ充實  
スルト云フ計畫ニナテ居ルト聞キマシタ、  
是ハサウデアラウト思ヒマス、伊太利ノヤ  
ウナ山岳ノ多イ所デハ殊ニソレガナケラニ  
ヤ海軍ヲ擴張シタ所ガ金バカリ要テ有事  
ノ日ニ餘リ用フナサスト思ヘル、又露西亞  
ハ御承知ノ如ク日本ト接壤ノ國デアル、然  
ルニ「ジユネーヴ」ノ軍備縮小ノ會議ニハイ  
ツデモ軍備全廢ヲ主張シテ居ル、是ハ露西  
亞ノ使節ハイツデモヤル、サウシテ露西亞  
ハドウシテ居ルカト云フト、露西亞ノ軍隊  
ト云フモノハ殆ド世界一ノ大團體ヲ持テ  
居ル、何ノ爲ニアノ國ガ大層ナ貴族ヤ豪商  
豪農ヲ潰シテマデモ、勞農政府ト云フモノ  
ガ今日ノ制度ヲ立テテ居ルト云フニ拘ラズ  
トシタ、丁度一昨年私ハ哈爾賓迄行シテ、色  
ガ爲デモナカラウデスケレドモ、不戰條約  
ノ出來タ當時ニ、既ニ支那ト戰端ヲ開カム  
ナカ露西亞ノ出方ト云フモノハ强硬デアッ  
タ、猛烈デアタ、今回ノ朝鮮銀行ノ支店ノ

如キ問題ハ、隨分久シイ問題、而モル一  
ブルダケノ問題、僅ニ紙幣ダケノ問題、ソ  
遭テ居リマスカ、銀行ガドウスルコトモ  
ヨウシナイデヤアリマセヌカ、固ヨリ漁業  
問題ノ如キモ今日日本ハドウ云フ位置ニア  
ル、又西比利亞ノ山林問題ノ如キ、日本人ガ  
多數ニ是ハ買收シテ居ルガ、思フヤウニ伐  
ラレマスカ、日本ノ外交ハドンナモノニア  
ル、日本ノ國力ハ今ハドウデアルト云フ位  
ノコトハ、露西亞人ガ知テ居ルト見エテ、  
ナカ／＼總テノ過日カラノ折衝ニ向テモ、  
強硬ニ出テ居ルヤウデゴザイマス、是ハ今  
ドウナツテ居リマスカ存ジマセヌガ、幸ヒニ  
代理總理大臣ヲ兼ネテオ居ニナル外務大  
臣ガオ居デスカラ此コトモ承リタイ、又  
今日隣ノ支那ハドウデアルカ、前回此演壇  
デ首相代理トシテ支那ノコトヲ——誠ニ詳  
シクハナイ、詳シクナイト云フモノハ、今  
回首相ニ代テ此演壇デ施政ノ方針ヲ御述  
ベニナツタ、續イテ外務大臣ノ施政方針ヲ御  
述ベニナツタ、而カモソレニハ殆ド二頁ニ  
ハ御論ガ及シテ居ラナイ、昨年一月ノ濱口  
總理大臣ノ御演説ハ丁度四頁ヲ埋メテ居  
ル……

イノデス、私ハ此各法案ニ付テ、就中此地在  
案ニ付テハ、マダ一二時間御話ヲシテ質  
問ヲシタ所ガ、到底ソレデ終ヘル譯デゴザ  
イマセヌ、先づ今ノ點ニ付キマシテ、減税  
ヲナサツタコトニ對シテハ、國民ハ實日本  
ハ是程ヒトイ條約ヲセラレテ居ル、併シ此  
際已ムコトヲ得ニヤ隱忍モシヤウ、唯其餘  
剩金ヲ以テ我ミノ負擔ヲ政府ガ輕減シテ吳  
レルト云フノデアルカラ、是ハ幾分慰ム  
ニ足ルデアラウ、其餘剩金ト云フモノハド  
ノ位政府ガ出スモノデアルカ、之ニ付テハ國  
民ハ皆政府ノナサルル所ヲ見テ居ルデアラ  
ウト思ヒマス、實ハ此減稅案ガ出ルト云フ  
ノハ、昨年ノ一月以來殊ニ之ヲ詳シク總理  
大臣大藏大臣其他政府カラ、何力事アル毎  
ニ御吹聴ニナツテ居ル、ソレデアルカラ國民  
ハ定メシ是ハ澤山ナ金額ヲ出シテ我ミノ困  
難シテ居ル所ヲ救ハレルデアラウ、負擔カラ  
大イニ輕減セラレルデアラウト、斯ウ思シテ  
居ルダラウト思ヒマス、就テハ茲ニ於テ大體  
私ガ伺ヒタイノハ、先ニ私ガ申上ゲタ是  
ケノ地租條例ヲ以テ取扱ヲナサレ、容易ナ  
コトデハナイガ併シ是ダケノ金ハ出ヤウ、  
二千五百万圓……今年ハ九百万圓デアル  
ガ、此法律ヲ施行スルニ付テハ是レ是レメ  
金ガ要ル、來年カラハ斯ウナル、サウシテ  
五箇年間ニハ是ダケ要ルノデアル、サウス  
ルト差引勘定即チ決算ヲシタ所デ、實際國  
民ガドレ程此恩惠ニ浴スルコトガ出來得ル  
カ、是ハ細カニ御勘定ガアリマセウカ、強  
テ今サウ算盤ノ上ノ細カイ御勘定マデデナ  
クテモ宜シイカラ、如何ニモ何人モ首肯ノ  
出來ルヤウニ、是ダケノ金ハ差引勘定シ云  
出ルノデアル、斯ウ云フコトニシテ戴クコ  
ト、ソレカラ五年ノ契約ガ済ンダ先デハド  
ウスルノデアルカ、是ガ伺ヒタイ、國民ハ  
縱シ辛抱セイト仰シヤレバ仕方ガナイ、斯  
カル條約ガ出來タノダカラ辛抱モシマセウ、  
併シ五年ノ後ハ定メシ相當ナ負擔ノ輕減ガ  
出來ルデヨザイマスカ、其時ハドウシテ下

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君)　只今高橋君ハ、此減税案ハ一方ニ於テ國民負擔ノ輕化シテ戴キタイ、マダ私ハ此法案ニ入リマシテ色ニ伺ヌコトガゴザイマスガ、先づソレダケヲ一ツ伺ヒマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

消費稅デモ砂糖消費稅デモ、ソレハ皆斯ウ云フヤウニシテ是ダケノ結果ニナルノアルト云フコトヲ御示シニナレバ、國民モ現在ハ仕方ガナイ、斯ウ云フコトニナル、是ハ一つノ成行デアルカラ、コ、デ我々ハ幸抱シテ置カウ、併シ他日ハ大ニ得ル所方アルカラ、ソレヲ樂シミニ先づ今日ハ辛抱シテ置カウト言フカモ知レヌ、此點ニ於テハ私ハ首相代理ト大藏大臣ノ兩方ノ間ニドハノ點マデモ宜イ、明カニ證明シテ貰ヒタク、唯今日誠ニ私ガ申上ダニクイノハ、斯ウ云フ有様デゴザイマスカラ、今回ノ帝國議會ト云フモノハ、中々種々ノ出來事方ナルト云フコトニ傳聞ヲ致シテ居リマシテ、殊ニ私ハ結構ナコトデアルト喜ンデ居リマスガ、此點ハ如何デゴザイマスルカ、ソレガ爲御病氣モ御平癒ニナッテ當院ヘモ御臨ミニナルト云フコトニ傳聞ヲ致シテ居リマシテ、衆議院ニ於テ非常ナ騷擾ヲ譲シ、ソレガ爲ニ首相代理モエライ御迷惑ヲナサッテ、私ハ其事ハ非常ニ御氣ノ毒ニ思シテ居ルノアリマス、ドウカ此減税案ニ付テノ御答辯ハ、アレハ感違ヒデアッタカ、アレハ失言ニアッタ云フヤウナコトノナイヤウニ、若シ一旦出ルト云フト、古人ハ臍モ舌ニ及バストカ何トカ申シマシタガ、今日ハ或ハ電波モ實ニ何トカニ及バスト云フヤウナ、モット「スピード」ノカカッタ話モスルカモ知レマセヌガ、ソレノナイヤウニ確實ナ御答辯ヲシテ戴キタイ、マダ私ハ此法案ニ入リマシテ色ニ伺ヌコトガゴザイマスガ、先づソレダケヲ一ツ伺ヒマス

減ノ目的ヲモ達セズ、又他ノ一方ニ於テ國防ノ安固ヲ圖ルト云フ目的ヲモ達セズ、所謂蛇蜂取ラズデアル、斯様ニ申サレマシテ、其減税案ガ我國國防ノ安固ヲ期スルニ足ラナイ一ツノ例證トシテ、今回ノ倫敦條約ガ如何ニ我國ノ國防ニ不安ヲ來スカト云フコトニ付キマシテ、前軍令部長竝ニ前海軍大臣ガ辭職サレタト云フコトガ其證據デアルト云フ風ニ申サレタノデアリマス、前軍令部長、前海軍大臣ガ辭職サレマシタル事情ニ付キマシテハ、固ヨリ私ガ此席デ申上ダラレルコトデモアリマセヌ、併ナガラ度ニ申述ペテ居リマスル通り、我ニハ今回ノ海軍兵力整備計畫ガ實行セラレマスルニ於キマシテハ、國防ノ骨幹ガ是デ一應整備次第デアル、當面ノ情勢ニ鑑ミテ何等國防ニ不安ヲ來スモノデナイト云フコトハ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、今回ノ海軍兵力整備計畫ヲ案畫イタシマスルニ付キマシテモ、是ハ軍部ノ意見ガ茲ニ纏マッタノデアリマス、此點ハ御安心ヲ願ヒタイノデアリマス、我ニハ能ク不戰條約ガアルカラ最早軍備ノ必要ガ無イト云フヤウナコトヲ私等ガ申シタヤウニ御話ニナリマシタガ、私ハ右様ナコトヲ申シタ覺ハアリマセヌ、又左様ナコトヲ考ヘタコトモアリマセヌ、不戰條約ハ最近世界列國々民ノ意思ノ傾向ヲ示スモノデハアリマスケレドモ、又望マシキ一つノ理想デハアリマスケレドモ、今日ノ現狀ニ於キマシテ戰爭ガ絶對ニ廢止サレル、事實上無クナッタトハ何人モ申シ得ナイノデアリマス、之ガ爲ニ列國トモ自分ノ國防ニ必要ナ軍備ヲ持ツテ居ルノデアリマント、軍備ヲ持ツコトハ既ニ國際聯盟ノ規約ニテモ十分認メラレテ居ルノデアリマス、戰爭ガ絶對ニ無イト云フモノナラバ或ハ軍備ノ必要ガ無クナルト云フコトモ言ヘルデアリマセウケレドモ、今日ノ狀況ハ左様デナイト云フコトハ私等モ十分認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ世界人心ノ傾向

ガ何處ニアルカト云ヘバ一國ガ自分ノ國策ヲ遂行センガ爲ニ、動モスレバ戰爭ニ訴へルト云フヤウナヤリ方ハ、今日ニ於テ宜シクナイ、成ルベク平和的手段ニ依テ一切ノ國ト國トノ紛争ハ處理シナケレバナラヌト云フ考ハ近年益強クナッテ居ルト云フコトハ申スコトハ出來ルト思ヒマスケレドモ、戰爭ガ絶滅イタシタ云フヤウナコトハ何人モ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ此鮮銀ノ浦鹽支店ノ問題デアルトカ或ハ「ルーブル」問題デアルトカ、或ハ支那問題デアルトカニ付テ御言及ガアッタノデアリマスガ、是本案ニ直接ノ關係ヲ有シナイカト思ヒマスカラ、恐ラクハ是ハ私ニ此際質問ニナッタモノデナイト了解イタシテ居リマス、又米國デアルトカ露國デアルトカノ軍備ノ計畫ノコトニ付テモ御話ニナリマシタガ、私ト致シマシテハ今日他國ノスカル計畫ヲ論議シ批評シ得ベキ立場デハアリマセヌ、ソレカラ此昭和六年度ヨリ昭和十一年度迄ノ艦艇製造費ノ財源トシテ留保イタシテアッタ五億八百万圓ヲ如何ニ割振ルノデアルカ、如何ナル費途ニ割振ルノデアルカト云フヤウナ御質問デアッタヤウニ承リマシタガ、是ハ私ノ聽達ヒカ知レマセヌ、若シ聽達ヒデアリマスナラバ後カラ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウ云フ御質問デアルト致シマスレバ先刻私ガ申述ベマシタ通り此五億八百万圓ハ二億四千七百万圓ヲ艦艇製造費ニ充テ、ソレカラ一億二千七百万圓ヲ航空兵力ノ充實竝ニ各種ノ内容ノ充實ニ充テマス、サウシテ一億三千四百万圓ヲ此減税ニ充テルト云フコトニ相成シテ居リマス、十一年度以後ニハ減税ハ如何ニ致スノアルカト云フ御間モア、タヤウデアリマス、是ハ勿論御承知ノコトデアラウト思スケレドモ、申ス迄モナク今度ノ減税ハ十一年度十二年度トゾット永久ニ續ク計畫デアルマスカ、是ニ十二年度以後ニ於

○森田福市君（議事ノ進行ニ付テ）定足數ヲ二十名以上モ闕イテ居シテ而モ四時半ヲ過ギテ居ルノデアリマスガ、尙ホ御繼續ニナルノデアリマスカ、貴族院規則第五十九條……第六十條ハ何時モ議長ガヤカマシコトデアリマスカ、而モ昨日ノ各派交渉會ニ於テ四時半頃迄ハ、百名以上居ル場合ニ練ナル書記官長ガ御付キニナッテ居ルニモ拘ラズ一言モ御注意ニナラヌノハドウ云フシ御讀上ダニナルコトデアリマス、而モ老練ナル書記官長ガ御付キニナッテ居ルニモハ何トカシヤウト云フヤウナコトニナッタサウデアリマスカ、此議院ノミガ規則ヲ犯シテ迄時議スルノニ政府ハ今朝如何デアリマスカ、十時半十一時ニ垂ントシテ漸ク出テ來ラレルヤウナ有様デ、餘リ熱方ナイト思フノデアリマス、此議院ノミガ規則ヲ犯シテ迄時間ヲ多ク審議スルト云フコトハドンナモノダラウト思ヒマスガ、私ハ議長ニ御尋不スルノハ貴族院規則ヲ御守リニナルヤ否ヤト云フコトヲ御尋ネスルノデアリマス、是ハ勿論御承知ノコトデアラウト思スケレドモ、申ス迄モナク今度ノ減税ハ十一年度十二年度トゾット永久ニ續ク計畫デアルカト云フ御間モア、タヤウデアリマスカ、是ハアルト認メマスカラ暫時休憩イタシマス、是ハ勿論御承知ノコトデアラウト思スケレドモ、申ス迄モナク今度ノ減税ハ十一年度十二年度トゾット永久ニ續ク計畫デアルマスカ、是ニ十二年度以後ニ於

ス

午後四時三十七分休憩

午後四時四十六分開議

○議長（公爵德川家達君）休憩前ニ引續キ

マシテ會議ヲ開キマス、本日ハ大分時間モ經チマシタカラ、是ニテ本日ノ議事ハ延會ヲ致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、明日ノ議事日程ハ本院臺報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會シマス、年後四時四十七分散會

午後四時四十七分散會

